#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	三月	田レい	きい	きプ	ラザ													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	3								
					Ŧ	1	0	8		0	0	3	7	区	市	町	村	名	東京都港区			
事	業所	等の	所有	E 地	町。	名番	<b>地下</b>	芝4-	-1-17	,												
事	業所等	争の多	延床面	面積		1	,527	.65	$m^2$		業 所 ネ ル			実 種		年 月 :		の 間	■ 1年度2	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所有	j		〕他	者所	有										
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>ノ</b> ト	)			■建物の−	→部(	(その	他)
報	告範囲	の主	たる月	目途		事務	所					商業	纟施調	没(集	勿則	丈)			〕商業施設	3(飲	(食)	
						工場	<u> </u>					複合	施調	没					その他			
日に	本標おける				8	5	4	9	通	鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		L	I営	店		□ 加盟店	1		非該当
	生可能							エネ 設置		一発		再生の受		ニスネ	ネル	ギー	一電	気	□ 証書に の利用		環境促	五値
前か	年度ら		告 卢 芝 更	容点																		

# 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 42	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 83	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 53.0	$kg-CO_2/m^2$

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(宋 <b>奴</b> (9	(t) 10=8×9×44/12
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	15,006.3	45.00	675.3	0.0136	33.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	98,777.0	9.97	984.8	0.4890	48.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	<b>i</b> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 1,660.1		82.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,394.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,394.0			0.4000	1.4
		合 計							2.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

4	地球温暖化对束	ツ大旭小		I	7 0 14 41 15
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
紀	織体制の整備				
/ 31. /	MAY II IN 1 -> TE NIII				
		5101	4	5100	
~	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
使	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C133	可能な限り低い照度設定
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
	運用対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
エ					
ネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
策		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以 师 サバハ 水			E130	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

### 6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。トイレの照明等を間引きで点灯させている。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	虎ノ	門V	きい	き	プラ	ザ													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	4									
					Ŧ	1	0	5	_	0	0	0	1	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等の	所在	地	町以	名番	<b>地下</b>	虎ノ	門1-:	21-10	)												
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		1	,858	8.08	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1 <sup>4</sup>	年度分	[	1	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一 🛱	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物	初の一番	部(そ	· の(f	也)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿則	夏)			〕 商業 <b>』</b> その	美施設 )他	飲食	£)	
日に	本 標 おける				8	5	4	9	追	連鎖化					Œ	直営	店			盟店		<b>■</b> 5	非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	マル	ギー	-電	気		語によ 利用	る環	竟価	値
前か	年度らい	の 勃		容点																			

# 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=④×0.0258)	① 73	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 4	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 74.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) ::(0)=(8) × (9) × 44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	16,567.5	45.00	745.5	0.0136	37.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
703	その他()				0.0				
<i>=</i>	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	209,376.6	9.97	2,087.5	0.4890	102.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,833.0		139.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,384.0			0.2660	1.7
他	公共下水道	·		$\mathrm{m}^3$	6,384.0			0.4000	2.6
	. <del> </del>	合計							(b) 4.3

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

4 :	地球温暖化对束	ツ大旭仏		T	7. 小仙 甘生
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
※日 系	織体制の整備				
WIT /	成件的0元曲				
~ ·	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
使	ポポポー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C104	採光を利用した消灯の実施
				C133	可能な限り低い照度設定
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策			C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C308	温度計等による室温の把握と調整
エ					
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
中	以州下リ刈尔				
		_		E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以哪等八刈鬼			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)					
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載						

### 6 特記事項

・虎ノ門高齢者在宅サービスセンターを併設。・区分所有(民間ビルに入居)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	麻木	<b></b>	区総	合多	支所														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	5									
					Ŧ	1	0	6	_	8	5	1	5	区	市	町	村	名	東京都港	赵			
事	業所	等 σ.	所 在	E 地	町以	名 番	<b>地下</b>	六本	木5-	-16-4	5												
事	業所等	等の タ	延床面	面積		6	,317	.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の - -	実 <i>i</i> ・使	績 [ 〕	年   		の間	■ 1年	度分		1年	未満
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	ノト	)			建物の	の一部	3(その	の他)	
報	告範囲	の主	こたる月	用途		事務工場						商業複合			勿則	反)			] 商業が ] その他		飲食	)	
	本 標 おける	細	分類看	肾号	9	8	2	1		連鎖化					<u>I</u>	直営	·店			显店		非詞	该当
再の	生可能	能工 用	ネル <sup>ュ</sup> 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ピエオ	ネル	ギー	一電	気	□証書の利	書による 引用	環境	価値	
前か	年度らる	の 勃 の 変		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 172	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	330	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	④ 331	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 52.2	$kg-CO_2/m^2$

	<u> </u>		推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	你 <b>奴</b> ⑨	(t) =8×9×44/12
.141.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	8,114.1	45.00	365.1	0.0136	18.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
77.5	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	583,780.0	9.97	5,820.3	0.4890	285.5
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	54,607.0	9.28	506.8	0.4890	26.7
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 6,692.2		<sup>(15)</sup> 330.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,370.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	2,596.0			0.4000	1.0
		合 計							1.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化对束	7,700,71	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>⊘</b> П ⟨	** ** *** ** *** ***	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組力	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
省				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
工				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
朿	故 佣 体 寸 刈 束	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E125	高輝度誘導灯の導入
	乳 供 道 1 分 <b>学</b>			E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	ランク CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)					
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載						

### 6 特記事項

・麻布区民センター(指定管理者が運営)、統計調査係、レストランを併設。・雨水使用の為、下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	飯倉	拿保	育園															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	6								
					₹	1	0	6		0	0	0	6	区	市	町	村	名	東京都港	区		
事	業所	等 σ.	所在	地	町:以	名番	<b>地下</b>	東麻	:布1-	-21-2												
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		1	,995	5.38	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	■ 1年月	度分		1年未清
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有										
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			]建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿則	灵)			商業施		次食)	
					Ш	工場	7					複合	施	艾					その他	ı		
日に	本 標 おける					5	3	1	通	鎖化	上事業	美区2	分		<u>I</u>	宜営	店		□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	能工 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニエネ	マル	ギー	一電	気	□ 証書の利	による 用	環境	価値
前か	年度らい	の 勃		容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 74	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 141	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	4 144	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 70.6	$kg-CO_2/m^2$

		山重寺の川帆	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	你 <b>奴</b> ⑨	(t) =8×9×44/12
.141.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	23,361.8	45.00	1,051.3	0.0136	52.4
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	183,174.0	9.97	1,826.2	0.4890	89.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,877.5		<sup>15</sup> 142.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	8,129.3			0.2660	2.2
他	公共下水道	_		$\mathrm{m}^3$	2,353.3			0.4000	0.9
		合 計	·						3.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
_	21'' 18'N 11111 BAZ 11 'A' 1 AK V Z Z Z MBAN 171'

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ ⟨	☆ 14 sl	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上市	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	) ) ) (t/t)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
(C)	11 4/ 00 00 10 DE				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
工工				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
ネ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ				C503	利用客数の時間帯別把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	故 佣 休 寸 刈 來				
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以哪等八刈來			E136	デマンドコントローラの設置

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載						

# 6 特記事項

・飯倉学童クラブを併設。

#### 1 事業所等の概要

事	業別	<b>等</b>	の名	称	南厢	床布	保育	園														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	7				_				
					Ŧ	1	0	6		0	0	4	7	区	市	町	村	名	東京都港	区		
事	業所	等の	所在	: 地	町。	名 番	F 地 下	南麻	布4-	-2-29	-101											
事	業所	等の	延床面	〕積			722	2.45	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の間	■ 1年月	度分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有										
報	芒	î	範	囲		建物	の全	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	圏の主	三たる月	建		事務工場						商業 複合			勿具	反)			〕 商業施 ■ その他		次食)	
日に			<ul><li> 業 分</li><li>分 類 番</li></ul>		8	5	3	1	連	運鎖化	と事業				Ī	直営	店		□加盟			非該当
再の	生可可利	能エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	マル マイス マイス マイス マイス マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	ギー	一電	気	□ 証書の利	による 用	環境	価値
前か		の 報 の 多	设 告 内 定 更	容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 32	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 62	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 85.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

<u>o</u> .		山里守り四訳							
			推計		/+ m =	F *41.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t)
del	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	5,191.9	45.00	233.6	0.0136	11.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	103,010.9	9.97	1,027.0	0.4890	50.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 1,260.7		62.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,696.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	2,696.0			0.4000	1.1
		合 計							1.8

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 :	地球温暖化対策	<b>少夫</b> 他状		T	in the trade
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ ⟨	☆ 14 × 11 ↑ ★ 14	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>形</b> 上 7	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L I W AT O	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
1~ /	11 1/1 00 12 10 12			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
エ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
ルギ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
來	以佣床与对来				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以师守八刈尔			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E136	デマンドコントローラの設置

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%			
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t			
	その他	特記事項に内容を記載	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	南厢	年布で	いき	いき	プラ	ザ													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	0	9									
	W		/		₹	1	0	6	_	0	0	4	7	区	市	町	村	名	東京都洋	巷区			
事	業所	等 0	) 所在	土地	町。以	名 番	F 地 下	南麻	布1	-5-	-26												
事	業所等	等の タ	延床面	面積		3	,751	.88	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の 間	■ 1年	医分		] 1年	<b>F未満</b>
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有						_					
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			〕建物	の一音	ß(そ)	の他	)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿則	夏)				施設(	飲食	)	
L		>#+ <del>-</del>	٨ كللد ٢/	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		工場	<b>ग</b>				Ш	複合	他記	文					その	也			
日に	本 標 おける				8	5	4	9	迫	連鎖化	/事業	美区么	分		Œ	直営	店		□加!	盟店		非	該当
再の	生可能	能工. 用	ネル <sup>ュ</sup> 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	ネル	ギー	一電	気		書による 利用	る環境	価値	Ī
前か	年度らい	の 勃 変		容点																			

# 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 97	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 186	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
	総計(④=②+③)	4 189	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 49.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	42,542.5	45.00	1,914.4	0.0136	95.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	186,197.0	9.97	1,856.4	0.4890	91.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>-</i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{*2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,770.8		186.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	5,187.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	5,902.0			0.4000	2.4
	/. <del>**</del>	合計							3.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		7 471 2 7	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>√</b> □ ⟨	強 牙 剉 の 軟 歴			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
和上方	織体制の整備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
	L I IV FF O	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 4/ 00 00 10 DE			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
エ				C317	その他設備の不使用時の停止
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
水	以佣床与对来	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以 畑 寺 八 刈 水			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E130	全熱交換器の導入

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無							
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内	特記事項に内容を記載					

### 6 特記事項

・南麻布高齢者在宅サービスセンター、南麻布地域包括支援センターを併設。当該施設は指定管理者が運営・管理。・雨水利用のため、下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

_																							
事	業所	等	の名	称	赤坑	反地	区総	合列	支所														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	1									
					₹	1	0	7	_	0	0	5	2	区	市	町	村彡	名 東	京都	港区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町:以	名 番	<b>地下</b>	赤坂	<del>(</del> 4–18	3-13													
事	業所等	等の3	延床面	面積		14	,697	.10	$m^2$		業 所 ネ ル			実 · 使				り 引	1年	F度分	[	□ 1	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	自		□ 他	1者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの生	产部		] 建	物の	)一音	邪(ラ	ーナン	ント	)			建物	の一片	郭(そ	<b>の</b> 他	<u>h</u> )
報	告範囲	lのi	ナスト	日企		事務	骄					商業	(施	設(4	勿則	<b>z</b> )			商業	施設(	飲食	E)	
十八						工場	<u>=</u>					複合	施	設					その	他			
	本 標 おける	っ 細り	分類種	≨ 号	9	8	2	1	追	連鎖化	上事業	美区2	分		直	[営	店		〕加	盟店	ı	■ ∌	丰該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		上ス	ネル	ギー	·電気	Ī [		書によ 利用	る環境	竟価	値
前か	年度らる	の 報 り 変		容点																			

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 417	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 808	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	4 812	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	54.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup>
	燃料等の	種別	の 使用	単位			(GJ)	係数	(t)
			5 47		6	7	8=(6/1000)×7	9	(10)=(8) × (9) × 44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	148,492.7	45.00	6,682.2	0.0136	333.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
<i>7</i> /13	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	972,820.7	9.76	9,494.7	0.4890	475.7
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 16,176.9		808.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,518.4			0.2660	1.7
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	7,865.6			0.4000	3.1
		合 計							<sup>16</sup> 4.9

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	<u> 地名加州</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
				A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆日 彡	織体制の整備			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上月	戦や前の登漏			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	) 18 htt	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C509	中央熱源機器等の季節設定実施
ュエ		C508	空室・不在時等の空調停止		
ネ					
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	政师体引为来	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	以用等八刈水			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

### 6 特記事項

・赤坂区民センター、健康増進センター、シティハイツ赤坂(共用部分、職員寮、区営住宅)を併設、これらの施設は指定管理者が運営・管理している。・雨水利用のため、下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	南言	<b></b> 事山位	保育	園															
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	1	3				_					
					Ŧ	1	0	7	_	0	0	6	2	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 ₫	所在	: 地	町。以	名 番	<b>地下</b>	南青	·山1-	-3-15													
事	業所等	等の	延床面	ī 積		1	,100	0.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	■ 1 <sup>4</sup>	丰度分		] 1	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	ノト	)			建物	<b>J</b> の一普	邪(そ	の他	<u>h</u> )
却	告範囲	日の主	ナス日	日冷		事務	所					商業	羊施龍	殳(华	勿貝	反)			〕商業	施設(	飲食	()	
+IX	口甲位口	ц V Л	-1001	11 1		工場	1 7					複合	施調	殳					その	他			
日に	本 標 おける					5	3	1	連	連鎖化	/事業	<b>美区</b> 2	分		Ц	直営	店		□加	盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	· 记				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	一電	気		書によ 利用	る環境	竟価値	直
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 44	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 84	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 86	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 76.3	$kg-CO_2/m^2$

		在即	推計	)	使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup>
	燃料等の	種別	の 使用	単位	6	7)	(GJ) ®=(6/1000)×⑦	係数	(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
	都市ガス			Nm <sup>3</sup>	8,504.6	45.00	382.7	0.0136	19.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
Thi:	その他()				0.0				
<i>=</i>	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	134,269.1	9.97	1,338.7	0.4890	65.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 1,721.4		<sup>15</sup> 84.7
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,820.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,820.0	/		0.4000	1.5
	(1 電气のは田	合計		·					<sup>(16)</sup> 2.5

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 .	<u> 但外価收几剂水</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>☆</b> □	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土. 形	取 仲 削 り 笠 加	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
	} , W ## @	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の    状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	11 1/1 1/2 1/2 1/2	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C133	可能な限り低い照度設定
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
工				C110	余熱利用による早めの空調停止
ネ				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
ルギ					
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	政师体引列来			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	以册等八刈界				

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無									
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%					
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

### 6 特記事項

・高温時を除き、扇風機やファンの多用を心がけている。・区分所有(都営住宅と併設)。

#### 1 事業所等の概要

																		_					
事	業彦	等	の名	称	青山	 口レッ	きい	きプ	ラザ														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	5									
					Ŧ	1	0	7		0	0	6	2	区	市	町	村	名	東京都	#港区			
事	業所	等の	所 在	土地	町。	名番	<b>地下</b>	南青	·山2-	-16-5													
事	業所等	等の	延床面	面積		2	,471	.33	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の 間	<b>1</b>	年度分	>		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	) —	『(テ	ナン	ノト	)			建物	勿の一	部(>	その	他)
చె	告範囲	E Ø 🗎	ナカスト	日之		事務	所					商業	[施]	殳(牛	勿則	页)			商	業施設	(飲:	食)	
+IX	口甲巴口	ц v л д	-1-70)	11 /0		工場	1 7					複合	施調	殳					その	の他			
日に	本 標 おける				8	5	4	9	通	鍾徂	/事業	を区グ	分		Œ	宜営	店		□ t	22.000			非該当
再の	生可利	能エ用	ネル <sup>コ</sup> 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	マル	ギー	-電	気		正書によ D利用	る環	:境佃	i値
前か	年度らり	の 報 の 多		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 50	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	97	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 1	t
	総計(④=②+③)	<a>98</a>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 39.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

<u>o</u> .	<u> 一段 ログ                                  </u>	山里守り四訳							
			推計			15. 米人	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
.LAL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	16,996.7	45.00	764.9	0.0136	38.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
2017	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	120,501.0	9.76	1,176.1	0.4890	58.9
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{*2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,940.9		97.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,472.0			0.2660	0.7
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	2,472.0			0.4000	1.0
		合 計							1.6

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

4	地球温暖化对束	V) JC NEWY	<u> </u>		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		)4)/K El 3	AJAK-H	7.17代出 \$	AJAN I
組	織体制の整備				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 4/ 1/L V/ 1/L 1/E				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
省		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C132	開け放し開口部面積の縮小
ュエ		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
ルギ				C312	給湯設定と使用場所の温度差把握
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
來	以佣床与对来	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	民 畑 寺 八 刈 水			E129	全熱交換器の導入
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無									
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%					
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

6	F	土	記	#	ťТ	古
n	1 4	ĸŦ	ᆵㄷ	. <del>-</del>	ムよ	8

・ 当該施設は指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	高輔	倫地	区総	合多	支所														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	6									
					Ŧ	1	0	8	_	8	5	1	8	区	市	町	村	名	東京都港	区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町以	名番	<b>地下</b>	高輪	ì1-16	5-25													
事	業所等	等の タ	延床面	面積		11	,255	5.01	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1年月	度分		1年末	卡満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物の	)一部	(その	つ他)	
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿貝	反)			商業が		飲食)		
	l. lar	S/64	* NIG 1\	. V/T		工場	d d	1			Ш	複合	)他自	<b></b>					その他	1			
日に	本 標 おける				9	8	2	1	追	連鎖化	/事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	重営	店		□ 加盟	1店		非該	当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニエオ	ネル	ギー	一電	気	□ 証書の利	による  用	環境	価値	
前か	年度らい	の 勃		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 223	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 426	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 428	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 37.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) (0=8×9×44/12
LAIL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	33,173.0	45.00	1,492.8	0.0136	74.4
燃料	その他(A重油)	)		L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	719,644.0	9.97	7,174.9	0.4890	351.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 8,667.6		426.3
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,940.9			0.2660	0.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	5,234.4			0.4000	2.1
		合計							<sup>16</sup> 2.9

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
i		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>∳</b> П ⟨	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土 月		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
エネルギー等の 使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
<i>(</i> , <i>)</i>	11 4/ 00 00 10 DE			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	運用対策	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
工					
ネル					
ボギ					
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
W	以 備 水 寸 刈 米	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以册等八刈尔			E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

# 6 特記事項

・A重油は非常用発電機に使用している。・高輪区民センター、シティハイツ高輪を併設している。それぞれ指定管理者が運用・管理している。・教育委員会所管の高輪図書館を併設しているが、本報告には含まれない。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	白金	全台	いき	いき	プラ	ザ													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	8									
					₹	1	0	8	_	0	0	7	1	区	市	町	村	名	東京者	都港区			
事	業所	等の	所 在	E 地	町は以	名 番	地下	白金	:台4-	8-5													
事	業所等	等の	延床面	百積		3	,964	.72	$m^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	<b>1</b>	年度分	}		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	所有	Í		コ 他	1者所	有											
報	告	-	範	囲		建物	かの全	产部		〕建	物の	)一音	阝(テ	ナン	ノト	)			建物	物の一	部(	その	他)
却	告範囲	E Ø F	ナケスト	日之		事務	所					商業	(施言	殳(牛	勿貝	反)			商	業施設	(飲	食)	
十八	口甲凸口	リヘンコ	100)	11 100		工場	1 7					複合	施調	艾					その	の他			
日に	本 標 おける				8	5	4	9	連	鍾俏	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		Į Į	重営	店		□ t	加盟店			非該当
再の	生可能	能工用	ネル <sup>ュ</sup> 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	-電	気		証書に。 の利用	よる環	環境信	西値
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 96	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 185	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 46.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		山里寺の円肌	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) =8×9×44/12
.444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	39,434.2	45.00	1,774.5	0.0136	88.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	195,756.3	9.97	1,951.7	0.4890	95.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	2,714.0	9.28	25.2	0.4890	1.3
<b>/</b> \(\dagger\)	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,751.4		185.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,828.8			0.2660	0.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	931.3			0.4000	0.4
		合 計							1.1

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>公口</b> ・	織体制の整備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
形丑. 7					
	de la	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
~	11 1/1 00 12 10 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
省		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C123	温湿度の適正管理
エ				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ネ					
ルギ					
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	以 佣 水 寸 刈 水				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	民 畑 寺 八 刈 水			E122	給湯の温水配管の保温の実施
İ				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

### 6 特記事項

・白金台児童館(区が運営・管理)を併設。・当該施設は指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	白金	<b>企</b> 保	育園																
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	0									
					₹	1	0	8	_	0	0	7	2	区	市	町	村	名	東京都	『港区			
事	業所	等 <i>の</i>	所在	: 地	町。以	名 番	地下	白金	3-10	)-12													
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		2	2,564	1.50	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	<b>1</b>	年度分	<b>`</b>		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	自		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	ノト	)			〕建物	勿の一	部(-	その	他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿貝	反)				業施設 り他	(飲:	食)	
日に	本 標 おける				8	5	3	1	追	連鎖化					<u>I</u>	直営	店			7.2.			非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	ネル	ギー	一電	気		正書によ り利用	くる環	:境征	<b>話値</b>
前か	年度らい	の 勃 の 変		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 72	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 141	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 54.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(水) (9)	(t) 10=8×9×44/12	
都市ガス				$\mathrm{Nm}^3$	30,341.6	45.00	1,365.4	0.0136	68.1
燃料	その他()				0.0				
及 その他()					0.0				
び執	び その他()				0.0				
100	*** その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	128,630.5	9.97	1,282.4	0.4890	62.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	16,547.8	9.28	153.6	0.4890	8.1
<i></i>	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup> k'			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,801.4		139.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,651.8			0.2660	1.0
他	八 川 一 「 )			$\mathrm{m}^3$	3,656.9			0.4000	1.5
		合 計							2.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>公</b> 日 ≤	織体制の整備			A208	組織横断的な推進体制の整備
小口 /	似 中 町 り 歪 畑				
	よった 然の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
<i>(</i>	17 / 10 / 10 /				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
省		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
エ				C113	中間期における外気冷房の実施
ネ					
ルギ					
1		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
來	政师不与为来	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以州寺八八八			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$		t		
	その他	特記事項に内容を記載					

### 6 特記事項

・白金いきいきプラザ、白金保育サポートと併設(それぞれ指定管理者と委託業者が運営・管理)。当該施設は区が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>デ</b> 等	の名	称	台場	易分	室																
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	2									
					Ŧ	1	3	5	_	0	0	9	1	区	市	町	村	名	東京都港	区			
事	業所	等の	所 在	地	町。	名 番	<b>地下</b>	台場	1-5-	-1													
事	業所	等の	延床面	前積		5	,387	.24	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1年	度分		1年未	満
所	有	Î	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	<u></u>	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一岩	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物の	一部	(その	)他)	
報	告範囲	圏の主	三たる月	月途		事務工場						商業複合			勿則	호)			〕商業加 ■ その他		飲食)		
	おける	る細さ		子号	9	8	2	1	追	連鎖化						1営			□加盟	且店		非該	当
再の	生可i 利	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	マノレ	ギー	-電	気	□ 証書の利	ドによる J用	環境	価値	
前か	年度らり	の 執 の 多		容点																			

# 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 180	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 327	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	④ 329	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 60.6	$kg-CO_2/m^2$

			推計		/+ III II		熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の種別			単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) 10=8×9×44/12
都市ガス				$\mathrm{Nm}^3$	1,454.6	45.00	65.5	0.0136	3.3
燃料	その他(温水)			MJ	1,427,810.0	1.36	1,941.8	0.0600	85.7
及	及 その他(冷水)			MJ	1,064,500.0	1.36	1,447.7	0.0600	63.9
び その他()				0.0					
200	~ その他()				0.0				
<i>=</i>	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	356,437.0	9.97	3,553.7	0.4890	174.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup> kWh			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
		合 計					<sup>(14)</sup> 7,008.7		<sup>(1)</sup> 327.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,204.0			0.2660	0.6
他	公共下水道	道		$\mathrm{m}^3$	3,555.0			0.4000	1.4
	_	合 計	`						2.0

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
組糸	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
	ネルギー等の 用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
省エネルゼ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策				
ギー対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%			
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t			
	その他	特記事項に内容を記載					

### 6 特記事項

・緑のカーテンで日差しを遮る(保育園、児童館)・台場区民センター(指定管理者が運営・管理)、台場保育園、台場児童館(それぞれ区が運営・管理)を併設。区分所有(UR住宅と併設)の施設。・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として変換後に中水として利用しているため。・地域冷暖房(冷水及び温水)を利用している

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	芝油		南区	民t	マンク	ター													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	3									
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 σ.	所 在	E 地	町以	名 番	<b>地</b> 下	芝浦	i4-13	3-1													
事	業所等	等の タ	延床面	面積		2	2,020	).50	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	<b>1</b> 4	年度分	[	<b>1</b>	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	自		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一 🛱	『(テ	ナン	ノト	)			建物	初の一音	郭(そ	の他	<u>ħ</u> )
報	告範囲	の主	こたる月	用途		事務工場						商業 複合			勿則	反)			〕 商業 <b>し</b> その	美施設 ( ) 他	飲食	£)	
	本 標 おける	細	分類種	肾号	9	5	1	1	追	連鎖化	/事業					直営			口加	盟店		<b>■</b> ∌	丰該当
再の	生可能	能 エ 用	ネル <sup>ュ</sup> 状	ギ ー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	ネル	ギー	-電	気		書によ 利用	る環境	竟価	値
前か	年度らい	の 勃 の 変		容点																			

# 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 72	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 139	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 139	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 68.7	$kg-CO_2/m^2$

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) 10=8×9×44/12
LAIL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,132.0	45.00	950.9	0.0136	47.4
燃料	燃料 その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	155,906.0	9.97	1,554.4	0.4890	76.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	32,122.0	9.28	298.1	0.4890	15.7
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĩ <sup>Ж2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>(14)</sup> 2,803.4		139.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,382.0			0.2660	0.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	1,382.0			0.4000	0.6
		合 計							0.9

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策	の美施状		•	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>♦□ ♦</b>	☆ 14 × 11 ↑ ★ 14	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上方	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 4/ 10F 40 1F 10E			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
工				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ					
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	凯 供 道 1 社 签	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E127	蒸気バルブ等の断熱強化
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E121	高効率ボイラの採用(給湯用)
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□目標達成した。	
--------------	----------	--

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・ 当該施設は指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	こう	なん	保育	園														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	4								
					₹	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市	町	村	名	東京都港[	区		
事	業所	等の	所 在	:地	町以	名番	<b>地下</b>	港南	i4-2-	-3-10	1							-				
事	業所等	等の タ	延床面	面積		1	,185	5.33	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の 					の間	■ 1年度	き分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有										
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> ト	)			■建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿貝	反)			商業施		次食)	
Н	+ +=	※ 立	: ** /\	<b>★</b> 五	Ш	工場	<b>ग</b>				Ш	複合	产他员	又					その他			
日に	本 標 おける				8	5	3	1	通	越鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		Ц	1営	店		□ 加盟	店		非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	-電	気	□ 証書の利力		環境	価値
前か	年度らい	の 新 カ 変		容点																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 45	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 87	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 89	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 73.3	$kg-CO_2/m^2$

	→ bX 10/2/5/17/	山里寺切門						一戒化	炭素排出量
	燃料等の	推計のは	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (II)=(8)×(9)×44/12
.141.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	4,658.3	45.00	209.6	0.0136	10.5
料料	燃 その他()				0.0				
及	及 その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	156,861.0	9.97	1,563.9	0.4890	76.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	<u></u> 수 計						<sup>(1)</sup> 1,773.5		<sup>(15)</sup> 87.2
その	そ 水道及び工業用水道			$\mathrm{m}^3$	3,789.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,789.0			0.4000	1.5
		合 計							2.5

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
-	<u> おらんい m tbな コーカー タヒヒ マノラモ かられた 1カ</u>

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>⊘</b> □ ⟨	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 7	は 平 刊 り 登 佣	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
(X)	11 4/ 00 00 10 DE			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C129	季節に応じた温度設定の見直し
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	故 佣 体 寸 刈 來				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
	設備導入対策				
	以哪等八刈來				

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	港區	有い	きい	きプ	ラザ														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	5									
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市	町	村	名	東京都港	区			
事	業所	等の	所在	土地	町以	名 番	<b>地下</b>	港南	i4-2-	-1													
事	業所等	等の タ	延床面	前積		1	,254	1.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の間	■ 1年	度分		1年ラ	未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	自		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物の	つ一部	(その	つ他)	
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務						商業			勿則	₹)			商業旗		飲食)		
						工場	<u>ਜ</u> ਹ					複合	施調	文					Ⅰ その他	<u>1</u>			
日に	本 標 おける				8	5	4	9	連	連鎖化	と事業	<b>美区</b> 2	分		Œ	直営	店		□ 加盟	且店		非該	善
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	ドル	ギー	一電	気	□ 証書の利	いまる J用	環境	価値	
前か	年度らい	の 勃		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	102	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	198	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	6	t
	総計(④=②+③)	4	204	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	157.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(形数 ⑨	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,679.2	45.00	975.6	0.0136	48.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
7615	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	307,124.0	9.76	2,997.5	0.4890	150.2
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>**2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,973.1		198.8
その	その水道及び工業用水道			$\mathrm{m}^3$	9,383.0			0.2660	2.5
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	9,383.0			0.4000	3.8
		合計							6.2

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4.	<u> </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>☆</b> □	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形出. 月	戦や前の登備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L I IV FF O	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 -1/4 1/2 -2 1/2 1/3			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C311	季節に応じた温度設定の見直し	C123	温湿度の適正管理
	運用対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
工				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
水	以佣床与对来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
	以用等八刈水			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E136	デマンドコントローラの設置

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

### 6 特記事項

・区分所有(都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。温水プールを設置。

### 1 事業所等の概要

	3 /10/	ΔI .1 .	1700	` .																	
事	業 彦	<b>デ</b> 等	のり	名 称	芝泊	甫ア	イラン	/ドこ	ども	園											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	6							
+	<b>₩</b>	hihi a	、 ·	<b>+</b> ==	Ŧ	1	0	8	_	0	0	2	3	区	市町	「村	名東	京都洋	巷区		
事	業所	等 0	)所	任 地	町は以	名番	<b>争地</b> 下	芝浦	i4-20	)-1											
事	業所	等の	延床	面積		3	3,761	.20	$m^2$		業 所 ネ ル						の 間	■ 1年	医分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有									
報	벋	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> ト)			建物	の一部	3(その	)他)
報	告範囲	圏の主	三たる	用途		事務 工場						商業 複合			物販)			商業	施設(1 他	飲食)	
日に	本 標 おける				8	5	3	1	追	鍾俏	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		直往	営店		] 加!	盟店		非該当
再の	生可利	能エ用	ネル 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ベルギ	一電	気 [		書による 利用	5環境	価値
前か	年度ら		设告 变 更																		

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 125	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	240	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)		t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 63.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	(8)=(6)/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	5,087.5	45.00	228.9	0.0136	11.4
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
7/17	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	391,139.0	9.97	3,899.7	0.4890	191.3
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	77,398.0	9.28	718.3	0.4890	37.8
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 4,846.8		<sup>(15)</sup> 240.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	5,765.0			0.2660	1.5
他 公共下水道				$\mathrm{m}^3$	6,806.0			0.4000	2.7
	_	合 計						4.3	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	<u> </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>%</b> □ <b>%</b>	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 が	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
100 /	11 -1/4 1/2 -2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C503	利用客数の時間帯別把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
巾	政佣床引剂来				
				_	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E141	太陽光発電設備の導入
	以用等八刈來				

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_		
	ベンチマーク区分	5	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	k	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

### 6 特記事項

・ロールカーテンを活用して室温の調整に役立てている。・芝浦アイランド児童高齢者交流プラザを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水使用のため、下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	旧衤	<b>巷勤</b>	労福	祉会	含館														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	2	7									
					Ŧ	1	0	8		0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都	『港区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町以	名 番	<b>地下</b>	芝5-	-18-2	2													
事	業所等	等の)	延床面	面積		2	,745	5.92	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 ; · 使				の間	<b>1</b>	年度分	•		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		〕他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(ラ	ナ	ント	.)			〕建物	勿の一∃	部(そ	との	他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿具	反)				業施設	(飲1	)	
					Ш	工場	1 7				Ш	複合	施	<b>没</b>					1 その	つ他			
日に	本 標 おける				9	5	1	1	連	鎖但	/事業	美区么	分		] [	直営	店		□ t	11盟店			非該当
再 の	生可育	能 エ 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニエク	ネル	ギー	一電	気		正書によ O利用	る環	境価	i値
前か	前年度の報告内容 令和4年度から新型コロナワクチン接種センターとして使用 からの変更点																						

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 34	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 24.3	$kg-CO_2/m^2$

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

		推計		// H H	101	熱量		炭素排出量	
	燃料等の種別		0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>尔</b>	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	及 その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
100	だ その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>-</i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	137,942.5	9.76	1,346.3	0.4890	67.5
規則	規則第5条の17第3項の場合のみなし値		Ĭ <sup>%2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 <b>計</b>							<sup>(1)</sup> 1,346.3		67.5
その				$\mathrm{m}^3$	0.0			0.2660	0.0
他	八 川 一 「 )			$\mathrm{m}^3$	0.0			0.4000	0.0
		合 計							0.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
-	

			重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
				A208	組織横断的な推進体制の整備		
組	職体制の整備						
/lar /l	W 14 111 V 正 1/H						
		D101		D104	20./# >> ) > 25/4m) = km kp		
T.	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握		
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示		
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化		
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理		
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更				
省		C508	空室・不在時等の空調停止				
エネ							
ル				1			
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検		
対等	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検		
ж	成 师 杯 5 7 7 7 7						
	設備導入対策						

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

### 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

### 6 特記事項

・下水が少ないのは空調の冷却水として使用しているため。(水道局に減量申請を行っている)・隣接の東京都障害者福祉会館にデマンドメーターを設置しており、東京都の職員が管理している。・空調に関しても隣接の東京都障害者福祉会館との中央熱源であり、東京都の職員が管理しているため、事務室の個別空調以外は操作ができない。・光熱費等の情報については、東京都から提供される。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	ふれ	しあし	いの	湯															
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	2	9									
					Ŧ	1	0	5	-	0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都	『港区			
事	業所	等の	所在	地	町。	名番	<b>地下</b>	芝2-	-2-18	3													
事	業所等	等の タ	延床面	前積			417	.96	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	<b>1</b>	年度分			1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			〕建物	物の一	部(そ	<u>-</u> の(	也)
報	告範囲	の主	たる月	月途		事務工場						商業複合			勿則	夏)			〕 商業 ■ その	養施設 )他	飲食	)	
	本 標 おける	か 細 ク	分類種	子号	7	8	5	1	連	鍾俏	/事業					宜営			口力	唱店			非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	-電	気		E書によ )利用	る環	境価	値
前か	年度らい	の 新 カ 変		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 39	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 179.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		山里寺の川帆	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	<b>徐毅</b> ⑨	(t) =8×9×44/12
	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	20,964.8	45.00	943.4	0.0136	47.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	58,643.0	9.97	584.7	0.4890	28.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 1,528.1		<sup>15</sup> 75.7
その	水道及び工業	用水道		$m^3$	5,257.0			0.2660	1.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	5,257.0			0.4000	2.1
		合 計	·						3.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
組組	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
	de la transportation of the contraction of the cont	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B104	設備ごとに詳細に把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
工				C314	効率的な台数でのボイラ等の運転
ネ				C319	蒸気の漏れ・保温の管理
ルギ				C317	その他設備の不使用時の停止
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	】 設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	改 佣 休 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
	凯 <b>供 道 7. **</b>	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

_																							
事	業所	等	の名	称	特別	川養	護老	人才	₹ <b>—</b> .	ム白	金の	森											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	0									
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	1	区	市	町	村	名東	東京者	8港区			
事	業所	等 σ.	所在	: 地	町以	名 番	<b>地下</b>	白金	:台5-	-20-5	i												
事	業所等	等の タ	延床面	面積		4	,466	5.78	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 · 使				の 間	1	年度	分		1年未満
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		] 建	物の	)一音	阝(ラ	ナ	ント	.)			建物	物の一	-部(	(その	)他)
华口	告範囲	I M F	ーたス日	日次		事務	所					商業	能施	没(4	物則	反)			商	業施設	눈(飮	(食)	
拟	口型四	コマノユ	:/この /l	九匹		工場	<u>=</u>					複合	施	没					その	の他			
	本 標 おける	5細2	分類番	\$ 号	8	5	4	1	通	連鎖化	上事業	<b>美区</b> 2	分		] [	直営	店	[	コカ	71盟店	i		非該当
再の	生可能	能工 用	ネルキ 状	ř 一 況				エネ 設置		一発		再生の受		ET.	ネル	/ギ-	一電	気 [		証書に の利用	よるタ	環境(	<b></b> 面值
前か	年度らい	の す り 変		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1)	251	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	487	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	10	t
	総計(④=②+③)	4	497	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	109.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12
dal	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	38,405.2	45.00	1,728.2	0.0136	86.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
2111	その他()				0.0				
<i>=</i>	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	821,087.0	9.76	8,013.8	0.4890	401.5
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\overline{\mathbb{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					9,742.0		<sup>(15)</sup> 487.7
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	15,300.0			0.2660	4.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	15,300.0			0.4000	6.1
	, <del>z</del> e ~ 4.8	合計							10.2

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	<u> </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>%</b> □ %	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
7. 7.	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	18 66	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
100 /	11 // 00 -> 10 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策			C123	温湿度の適正管理
省				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
エ				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	政佣体引列来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	_		E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以用等八刈來				

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

## 6 特記事項

・高齢者在宅サービスセンター白金の森、地域包括支援センター白金の森を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雑排水、雨水が混合しているため、下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	特別	川養	護老	人才	₹₩,	ム港	南の	郷										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	1								
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市	町	村	名	東京都港	区		
事	業所	等 <i>の</i>	所在	: 地	町。以	名 番	地下	港南	i3-3-	-23												
事	業所等	等の タ	延床面	ī積		9	,363	5.50	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1年月	度分		1年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有										
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(ラ	ナン	<b>/</b> }	)			建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	の主	こたる月	建		事務工場						商業複合			勿則	夏)			〕商業施 ■ その他		次食)	
日に	本 標 おける		意業分 分類番		8	5	4	1	追	連鎖化	上事業				Œ	宜営	店		□加盟			非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 况				エネ 設置		一発		再生の受		ニエネ	マル	ギー	一電	気	□ 証書の利	による 用	環境	価値
前か	年度らい	の 執 の 薬		容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 527	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2,008	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③ 17	t
	総計(④=②+③)	4 1,025	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 107.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		山里寺の川帆	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	<b>徐毅</b> ⑨	(t) =8×9×44/12
.444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	156,573.9	45.00	7,045.8	0.0136	351.4
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,344,466.0	9.97	13,404.3	0.4890	657.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 20,450.2		1,008.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	26,747.0			0.2660	7.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	26,747.0			0.4000	10.7
		合 計							<sup>16</sup> 17.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	<u> 地名加州</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆日 彡	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形出. 7	戦や前の登浦	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	) 18 htt	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
1~ /	13 - 10 - 10 12				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策			C123	温湿度の適正管理
省				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
エ				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	政师体引为来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以用等八刈水			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

## 6 特記事項

・高齢者在宅サービスセンター港南の郷、ケアハウス港南の郷、地域包括支援センター港南の郷を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

## 1 事業所等の概要

	1. //~/	> 1 · · 3	1702	<u> </u>																	
事	業月	千 等	の s	名 称	特別	川養	護老	人才	;—,	ムサ	ン・サ	ナンラ	赤坂	•							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	2							
-	علاد <u>-</u>	trtr a		مانا 🛨	Ŧ	1	0	7	_	0	0	5	2	区	市町	「村	名東	京都海	港区		
事	業所	等 (	)所	在地	町は以	名番	<b>争地</b> 下	赤坂	6-6-	-14											
事	業所	等の	延床	面積		8	3,491	.34	$\mathrm{m}^2$		業 ア ネ ル						の 間	■ 1年	度分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		□ 他	1者所	有									
報	겉	i	範	囲		建物	カの含	产部		] 建	物の	)一:	写(テ	ナン	/ト)			建物	の一部	3(その	)他)
報	告範圍	圏の自	Eたる	用途		事務 工場						商業複合			勿販)			商業を	施設(£ 也	飲食)	
日に	本 標 おけれ				8	5	4	1	追	連鎖化	上事業	<b>美区</b> 2	分		直	営店		] 加盟	盟店		非該当
再の	生可利	能 エ 用	ネル 状					エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ベルギ	一電	気 [		書による 引用	環境位	価値
前か	年度ら		设告 変 更																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 326	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	© 632	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 11	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 643	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5 74.4	$kg-CO_2/m^2$

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) ::(0)=(8) × (9) × 44/12
LAL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	102,334.9	45.00	4,605.1	0.0136	229.6
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	355,454.1	9.97	3,543.9	0.4890	173.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	131,013.1	9.28	1,215.8	0.4890	64.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	336,551.7	9.76	3,284.7	0.4890	164.6
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>**2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 12,649.5		632.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	19,176.0			0.2660	5.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	15,053.0			0.4000	6.0
		合計							11.1

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>♦□</b>	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上方	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L I IV FF O	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100 /	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C132	開け放し開口部面積の縮小
エ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C419	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾	政师体引为来	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		_		E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	_		E104	照明点灯範囲の細分化
	以册等八刈尔			E105	照明用人感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・緑のカーテンや打ち水などのイベントの実施をしている。・高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、赤坂子ども中高生 プラザを併設している。・教育委員会所管の氷川武道場も併設しているが、氷川武道場は本報告の実績には含まない。・当 該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	台場	場高	齢者	在年	ミサ	ービ	スセ	ンタ											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	3									
					₹	1	3	5	_	0	0	9	1	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 0	所 在	: 地	町。以	名 番	地下	台場	1-5-	-5													
事	業所等	等の	延床面	〕積		1	,466	5.92	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の 間	<b>■</b> 13	年度分			1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告	<u>:</u>	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(ラ	ナン	<b>/</b> }	)			建物	物の一音	部(そ	との	他)
報	告範囲	目の主	こたる月	自途		事務工場						商業複合			勿則	反)			〕商業 <b>』</b> その	美施設 )他	(飲1	)	
に	本 標 おける	5細2	分類番	号	8	5	4	2	連	連鎖化						直営			口力	盟店			非該当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	-電	気		E書によ )利用	る環	境価	i値
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	① 86	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 156	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 106.3	$kg-CO_2/m^2$

		出土 (19) 11(	推計		0.0     9.76       4     0.0       3,368.9     0.2660       0.9     0.4000       1.7				
	燃料等の 都市ガス その他(温水) その他(冷水) その他() その他() その他() その他() その他() その他() その他() をの他() をの他の買電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼夜	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数			
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦		
LAL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	992.8	45.00	44.7	0.0136	2.2
燃料	その他(温水)			MJ	827,700.0	1.36	1,125.7	0.0600	49.7
及	その他(冷水)			MJ	425,400.0	1.36	578.5	0.0600	25.5
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	162,493.0	9.97	1,620.1	0.4890	79.5
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,368.9		<sup>(15)</sup> 156.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,560.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	4,268.0			0.4000	1.7
		合 計							<sup>(16)</sup> 2.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	<u> </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>火口</b> ∮	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形出. 7	戦や前の登備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L I IV FF O	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 -1/4 1/2 -2 1/2 1/3			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
省				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
ュエ				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ルギ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
巾巾	政佣床订刈水	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E123	トップランナー機器の採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以用等八刈水			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

・区分所有(UR住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・下水が多いのは、雨水を「有明水処理センター」へ送水後、高度処理水として返還後に中水として利用しているため。・地域冷暖房(冷水、温水)を利用している。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>新</b>	の名	称	北青	∮山;	高齢	者在	E宅	サー	ビス	セン	ター	-									
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	4									
					₹	1	0	7	_	0	0	6	1	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 €	所在	地	町:以	名 番	<b>地下</b>	北青	·山1-	-6-1													
事	業所等	等の	延床面	ī 積		1	,541	.92	$\mathrm{m}^2$		業 所ネル		の 					の間	■ 1年	F度分		] 1	年未満
所	有	Î	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一岩	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物	の一音	羽(そ	の他	1)
報	告範囲	圏の主	こたる月	月途		事務							<b>É施</b> 記		勿貝	反)				施設(	飲食	()	
					Ш	工場	7					複合	施	艾					その	他			
日に	本標おける		ミ業 分 分類 番		8	5	4	2	通	連鎖化	と事業	<b>美区</b>	分		Ī	直営	店		□加	盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		エオ	マル マイス マイス マイス マイス マイス マイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス ア	ギー	一電	気		書によ 利用	る環境	竟価値	直
前か	年度らり	の 執 の 多		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 61	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 117	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 119	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 75.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

5	— HX   L1// C/N 1//	田東4~111/1						一ሒル	炭素排出量
	その他() その他() その他() その他() その他() その他() その他() その他() 一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気 その他の買電(昼夜間不明の場) 別第5条の17第3項の場合の 合計 水道及び工業用水道 公共下水道	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出係数	<u> </u>
			使用	2	6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
LAL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,049.9	45.00	947.2	0.0136	47.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_		昼間(8時~22時)		kWh	143,277.0	9.97	1,428.5	0.4890	70.1
電気		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,375.7		<sup>15</sup> 117.3
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,562.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,031.0			0.4000	1.2
		合 計							<sup>16</sup> 2.2

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	也外通吸门外来		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>♦□</b>	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形丑. 月	戦性前の登場	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L IN the o	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100 /	11 -1/4 1/2 -2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
省				C123	温湿度の適正管理
エ				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
ネ				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
ルギ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
束	設 佣 体 引 刈 來				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以哪等八刈束			E120	ヒートポンプ式給湯器等の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・施設入口のエントランス、各フロアーのベランダに緑のカーテンを設置。・北青山地域包括支援センターを併設。区分所有 (都営住宅と併設)。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	芝雨	事齢:	者在	宅は	<b>ا</b> —ا	ビス・	セン:	ター											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	5									
					Ŧ	1	0	5	-	0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 0	所 在	土地	町以	名 番	<b>地</b> 下	芝3-	-24-5	5													
事	業所領	等の	延床面	面積			991	.28	$m^2$		業 所 ネ ル		の - -					の 間	■ 1 <sup>4</sup>	年度分		] 1	年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有											
報	告	i	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> ト	)			〕建物	刃の一音	邪(そ	の他	1)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿則	反)			〕 商業 <b>』</b> その	¢施設( )他	飲食	()	
日に	本 標 おける				8	5	4	2	通	鍾俏	上事業	美区2	分		Ц	直営	店		□加	盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可育	能 エ 用	ネルキ 状					エネ 設置		一発		再生の受		ニエネ	ネル	ギー	一電	気		:書によ 利用	る環境	竟価値	直
前か	年度らら	の 執 の <i>羽</i>		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=④×0.0258)	① 59	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 116	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 115.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	<u> — 取几火光炉</u>		推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	の	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) 10=8×9×44/12
	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,018.0	45.00	945.8	0.0136	47.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者の電線なるして	昼間(8時~22時)		kWh	137,793.1	9.97	1,373.8	0.4890	67.4
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<b>/</b> (4	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,319.6		114.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,495.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,495.0			0.4000	1.4
		合 計							<sup>(16)</sup> 2.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 :	地球温暖化对策	<b>ツ夫旭</b> 仏		I	ve - 11 1 1 heles
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ «	強 牙 剉 の 軟 歴	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上方	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	L I W MA O	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
ζ	11 V DE 42 10 DE			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
省				C123	温湿度の適正管理
ュエ				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ネ				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
ルギ				C132	開け放し開口部面積の縮小
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
水	政师床订刈水	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
	以册等八刈尔			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量)			
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・芝地域包括支援センターを併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	障害	<b>害保</b> (	健福	祉さ	マンク	ター													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	6									
	W		/		₹	1	0	5	_	0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都洋	巷区			
事	業所	等 0	) 所在	E 地	町。以	名 番	F 地 下	芝1-	-8-23	3													
事	業所等	等の タ	延床面	面積		17	,809	.94	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1年	医分		] 1 <sup>左</sup>	<b>F未満</b>
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			建物	の一音	ß(そ	の他	)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務						商業			勿則	₹)				施設(	飲食	)	
					Ш	工場	1 7				Ш	複合	施	没					その	世			
日に	本 標 おける				8	5	5	9	連	鎖但	(事業	<b>美区</b> 2	分		Œ	直営	店		□ 加.	盟店		非	該当
再の	生可能	能工. 用	ネルコ 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	マル	ギー	-電	気		書による 利用	る環境	适価値	ĺ
前か	年度らい	の 執 の <i>薬</i>		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 424	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 811	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	§ 815	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 45.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) (0=8×9×44/12
dell	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	96,109.6	45.00	4,324.9	0.0136	215.7
燃料	その他(A重油)	)		L	225.0	39.10	8.8	0.0189	0.6
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,216,403.0	9.97	12,127.5	0.4890	594.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 16,461.3		<sup>(15)</sup> 811.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	7,469.0			0.2660	2.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	5,035.0			0.4000	2.0
		合計							4.0

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>♦</b> □   ⟨	強 牙 剉 の 軟 歴	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
市出 市	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
12 /	11 1/1 1/1 VC VC VZ 1/L 1/E			B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C113	中間期における外気冷房の実施
省エネルギー				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	凯 供 伊 宁 ≯ 笙	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
設,	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施
	政 漏 等 八 刈 來			E135	エレベータのインバータ制御
				E136	デマンドコントローラの設置

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・シティハイツ竹芝(区民住宅、職員寮)を併設。当該施設は指定管理者が運営・管理。・A重油は非常用発電機に使用。

#### 1 事業所等の概要

_																							
事	業	<b>デ</b>	の名	称	東凩	\$布 <sup>/</sup>	保育	園															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	3	9									
	VII	1.1.	1		₹	1	0	6	_	0	0	4	4	区	市	町	村:	名東	京京者	『港区			
事	業所	等 0	所 在	地	町以以	名 番	<b>地</b> 下	東麻	布2-	-1-1													
事	業所等	等の	延床面	ī 積		2	,614	.98	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル							の 間	<b>1</b>	年度分	}		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	羽(ラ	ーナン	ント	)			建物	勿の一	部(	その	他)
七口	告範囲	F Ø 🖹	ーたス日	日次		事務	所					商業	É施詞	没(4	勿則	反)			商美	<b>業施設</b>	(飲	食)	
拟	口里也	ロマノユ	:/この /l	7 还		工場	<u>=</u>					複合	施	設					その	つ他			
	おける	5細2		号号	8	5	3	1	通	連鎖化	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		] []	直営	店	[	コ カ	叩盟店			非該当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 沢				エネ 設置		一発		再生の受		ET.	ネル	ギー	-電	<del>気</del> [		正書に。 O利用	よる芽	環境促	话值
前か	年度らり	の 報 の 多		沙心																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 65	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 124	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	4 127	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 47.4	$kg-CO_2/m^2$

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	11,107.8	45.00	499.9	0.0136	24.9
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	203,764.0	9.97	2,031.5	0.4890	99.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>-</i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>%2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(1)</sup> 2,531.4		124.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	4,890.0			0.2660	1.3
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	4,890.0			0.4000	2.0
	_	合 計	·						3.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
4	

	也坏值吸化剂來		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>∳</b> □ <b>∲</b>	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>水</b> 丛	取作 別の登場	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	18 64 6	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
/	11 1/1 1/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運 用 対 策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
省				C123	温湿度の適正管理
エ				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ネ				C132	開け放し開口部面積の縮小
ルギ				C503	利用客数の時間帯別把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
水	以用床门刈水				
	設備導入対策				
	以州等八刈水				

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

## 6 特記事項

・閉校した旧飯倉小学校の一部を使用。・東麻布学童クラブ、みなと保育サポート東麻布を併設している。・教育委員会所管のつばさ学級を併設しているが、本報告には含まれていない。

#### 1 事業所等の概要

_																							
事	業所	等	の名	称	品丿	川駅	港南	j 口么	\共.	駐車	場												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	4	0									
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市	町	村彡	名 東	京都	港区			
事	業所	等の	所在	: 地	町。以	名 番	* 地 下	港南	2-14	<b>l</b> −17													
事	業所等	等の3	延床面	ī 積		8	,844	1.33	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 ; · 使				り 間	■ 1 <sup>4</sup>	<b>F度分</b>			1年未満
所	有		形	態		自己	引所有	自		] 他	1者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの生	产部		〕	物の	)一音	羽(ラ	ナ	/ト)				建物	カクーギ	部(そ	-の(	也)
华口	告範囲	i n i	・たて日	日次		事務	所					商業	纟施調	没(4	勿販	()			商業	施設	飲食	<b>(</b> )	
郑	口軋世	リマノ土	につり	力还		工場	<u>=</u>					複合	施	没					その	他			
	本 標 おける	細り	分類番	号号	6	9	3	1			上事業	美区2	分		直	[営]	店		〕加	盟店		<b>=</b>	非該当
再の	生可能	ピエ. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		(T	ネル	ギー	電気	ā [		書によ 利用	る環	境価	値
前か	年度らる			容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 55	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 109	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 12.3	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	107,979.0	9.97	1,076.6	0.4890	52.8
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	116,655.0	9.28	1,082.6	0.4890	57.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計				/	<sup>4</sup> 2,159.1		109.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	177.0			0.2660	0.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	177.0			0.4000	0.1
	. <del> </del>	合計							0.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ <b>√</b>	並 45 生 の 動 1生	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上市	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	18 66	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
五				C503	利用客数の時間帯別把握
ネ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ルギ				C510	その他設備の不使用時の停止
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
策	放 佣 休 寸 刈 來			D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
	凯 供 道 1 分 <del>学</del>				
	設備導入対策				

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・ガスの使用はなし。中央熱源設備、厨房は設置していない。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

	\!!!						··	II. m	\														
事	業別	等	の名	称	林才	于十 <sup>;</sup>	番公	: 共馬	王車:	場													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	4	1									
					Ŧ	1	0	6	-	0	0	4	5	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等の	所在	: 地	町以	名番	<b>地下</b>	麻布	十番	:1-4-	10												
事	業所等	等の3	延床面	〕積		11	,740	0.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の 間	■ 1 <sup>4</sup>	年度分		] 1:	年未満
所	有		形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	ノト	)			〕建物	刃の一音	羽(そ	の他	ī)
却	告範囲	$I \rightarrow 1$	・チフ日	1 冷		事務	新					商業	(施)	殳(牛	勿則	反)			〕商業	¢施設(	飲食	()	
袝	口即近	リワエ	:/この月	1 述		工場	<u>=</u>					複合	施調	殳					<b>し</b> その	他			
日に	本 標 おける				6	9	3	1	追	連鎖化	/事業	美区2	分		<u>I</u>	直営	店		口加	盟店		■身	丰該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニス	ネル	ギー	一電	気		:書によ 利用	る環境	急価値	直
前か	年度らる	の 勃 変		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 170	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 336	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
	総計(④=②+③)	<b>336</b>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 28.6	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		// H H	101	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>尔</b>	(t) 10=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	348,503.0	9.97	3,474.6	0.4890	170.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	329,376.0	9.28	3,056.6	0.4890	161.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	9,300.0	9.76	90.8	0.4890	4.5
規貝	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 6,622.0		336.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	896.0			0.2660	0.2
他	ハルナル外			$\mathrm{m}^3$	896.0			0.4000	0.4
		合 計							0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

<b>T</b> ,	地球温暖化对束	マクラス 心心	<u>重点対策</u>		 その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>∌</b> □ /	± + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
組着	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
1史 /	用状況の把握			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
口上				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
]		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
水	政师床订对从	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
	成 州 寺 八 八 水				

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・ガスの使用はなし。24時間稼働の施設である。当該施設は、指定管理者が運営・管理。

#### 1 事業所等の概要

事	業別	f 等	の名	称	エニ	プラ	ヺザ															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	4	2								
					Ŧ	1	0	5		0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京都港	区		
事	業所	等の	)所有	E 地	町以	名番	<b>地下</b>	浜松	:町1-	13-1												
事	業所	等の	延床面	面積		4	,630	.98	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 使				の間	■ 1年度	度分		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有										
報	华	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			■建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	圏の主	こたる月	月途		事務						商業			勿貝	夏)			□ 商業施		次食)	
L		>#+ <del>-</del>	را خالد د	Ver	Ш	工場	<b>ग</b>				Ш	複合	î 他 i	文					■ その他	ı		
日に	本 標 おける				8	2	1	3	迫	鎖但	(事業	<b>美区</b> 2	分		Ī	直営	店		□ 加盟	.店		非該当
再の	生可利	能エ用	ネル <sup>は</sup> 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ネル	ギー	一電	気	□証書の利	による 用	環境	価値
前か	年度ら	の 執 の 3		容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	t
	総計(④=②+③)	4 137	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 29.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計		// H H	101	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b></b>	(t) (0=8×9×44/12
.[4:1]	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
2117	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	194,165.0	9.97	1,935.8	0.4890	94.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	86,672.0	9.28	804.3	0.4890	42.4
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,740.1		137.3
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	227.0			0.2660	0.1
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	227.0			0.4000	0.1
		合 計							0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策	の美施状			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ ⟨	☆ 14 sl	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
水土 7	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 1/1 1/1 VC VC VZ 1/L 1/E	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
省		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
工		C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ					
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	故 佣 体 寸 刈 來				
				E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以册等八刈尔			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E135	エレベータのインバータ制御

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。・シティハイツ神明を併設している。

## 1 事業所等の概要

	3 /1~/	ΔI .1 .	1700	^ .																	
事	業 彦	<b>デ</b> 等	の s	名 称	みな	なとり	サイ	ウル	∕清拮	事	務所										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	4	3							
+	лк	hthe a	\	<b>→</b> 1116	Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市町	「村	名東	京都港	基区		
事	業所	等 ()	)所	在地	町は以	名 番	争 地 下	港南	i3-9-	-59											
事	業所	等の	延床	面積		10	,438	.98	$m^2$		業 所 ネ ル						の 間	■ 1年	度分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	Ī		] 他	1者所	有					· ·				
報	끋	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/ト)			建物	の一部	3(その	)他)
報	告範囲	圏の主	三たる	用途		事務 工場						商業 複合			物販)			商業がその個	施設(館 也	飲食)	
日に	本 標 おける				8	8	1	7	追	重鎖化	上事業	<b>美区</b> 2	分		直包	営店		] 加盟	盟店		非該当
再の	生可利	能 エ 用	ネル 状				可能 備の			一発		再生の受		エネ	ベルギ	一電	気[	i 証書	書による 引用	環境信	<b></b> 面值
前か	年度ら		B 告 変 更																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 141	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	269	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 5	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 274	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 25.7	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		//. III II	~ W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
L#L	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	28,440.9	45.00	1,279.8	0.0136	63.8
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
100	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	419,870.0	9.97	4,186.1	0.4890	205.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<b>i</b> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 5,465.9		269.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	8,825.0			0.2660	2.3
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	8,985.0			0.4000	3.6
		合 計							5.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
_	211781N11111.192 11 7 AT 212 V 2 A 2011/41 1717

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
<b>公</b> 曰 子	織体制の整備			A207	排出状況の整理・分析・提供
<b>形</b> 丘	戦や前の発補				
	よっ ど か か	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
1~ /	13 - 10 - 10 12	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C123	温湿度の適正管理
省		C508	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
エ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C522	効率的な台数でのボイラ等の運転
ルギ				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
水	政师体引为来	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	設備導入対策			E115	トップフード照明の導入
	以用等八刈水			E134	駐車場CO等濃度制御の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・雨水利用のため下水が多い。

#### 1 事業所等の概要

_			,,,,,,																				
事	業所	等	の名	称	区征	设所:	本庁	*舎•	議会	練													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	4	4									
	VII		/		₹	1	0	5	_	8	5	1	1	区	市	町	村。	名東	京都	港区			
事	業所	等の	) 所在	: 地	町。以	名 番	* 地 下	芝公	:園1-	-5-25	i												
事	業所等	争の多	延床面	ī積		33	3,573	3.00	$m^2$		業 所 ネ ル		の :					か 間	■ 1 <sup>4</sup>	丰度分		□ 1	年未満
所	有		形	態		自己	引所不	j		] 他	1者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一¦	『(テ	ナン	ント)	)			建物	カの一节	部(そ	<b>一</b> の作	也)
報	告範囲	の主	たる用	计余		事務	所					商業	能能	殳(华	勿郥	į)			商業	É施設(	飲食	<b>(</b> )	
						工場	크 7					複合	施調	艾					その	他			
日に	本 標 おける				9	8	2	1	追	鍾俏	上事業	<b>美区</b> 2	分		直	[営	店		〕加	盟店		<b>=</b> 3	非該当
再の	生可能	ピエ <i>-</i> 用	ネルキ 状	· 况				エネ 設置		一発		再生 の受		エオ	ネル	ギー	·電氛	₹ĺ [		書によ 利用	る環	境価	値
前か	年度ら			容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 875	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 1,699	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 8	t
	総計(④=②+③)	(4) 1,707	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	50.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) (0=8×9×44/12
LAIL	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	75,489.9	45.00	3,397.0	0.0136	169.4
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	3,128,833.0	9.76	30,537.4	0.4890	1,530.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 33,934.5		1,699.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	12,148.0			0.2660	3.2
他	公共下水道	_		$\mathrm{m}^3$	13,862.0	$\overline{}$		0.4000	5.5
	-	合 計	`	`					8.8

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ «	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
水土 7	単一型の発生	A204	取組状況の点検体制の構築		
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の		日り八十寸記な情報に塞って記述	B104 B106	過去のデータによる傾向の把握
使丿	用状況の把握			B100	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C101	空室・不在時等の空調停止	C102	日本工業規格に準じた照度の設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	居休み時の消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C103	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C504	余熱利用による早めの空調停止	C108	余熱利用による早めの空調停止
	座	C300	示が門用による十のの主刺で正	C110	中間期における外気冷房の実施
省				C113	冷凍機等の出入口温度把握と調整
エネ				C124	進入外気に伴う空調負荷の低減
ル				C123	便座ヒーター等温度の季節別設定
ギー		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
策	故 佣 休 寸 刈 束				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以册等八刈水			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E128	フリークーリングの導入

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

冷温水ポンプを時間帯により流用の小さいポンプに切り換えて運用している。

#### 1 事業所等の概要

-																							
事	業所	等	の名	称	高輔	倫保	育園																
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	5	3									
	W		/		₹	1	0	8	_	0	0	7	4	区	市	町	村	名勇	東京都	<b></b> 都港区			
事	業所	等 0	) 所在	E 地	町。以	名 番	* 地 下	高輪	j3-18	8-15													
事	業所等	等の	延床面	百積		2	2,880	0.36	$m^2$		業 所 ネ ル		の : _					の間		年度多	分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	自		] 他	1者所	有											
報	告	<u>:</u>	範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	羽(ラ	ナ	ント	)			建!	物の-	→部(	(その	)他)
和	告範囲	F AD T	ーたスト	日冷		事務	所					商業	纟施調	没(4	物則	反)			商	業施設	设(飲	(食)	
袝	口即因	ゴマノユ	11207	力还		工場	<u>=</u>					複合	施	没					そ(	の他			
	本 標 おける	5細2	分類種	肾号	8	5	3	1	通	連鎖化	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		] []	直営	店			加盟店	i		非該当
再の	生可能	能工 用	ネル <sup>ュ</sup> 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ET.	ネル	ギー	一電	気		証書に の利用		環境信	西値
前か	年度らい	の 報 の <i>薬</i>		容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=④×0.0258)	① 99	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 191	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 66.3	$kg-CO_2/m^2$

		山里寺の川帆	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>你</b> 级 ⑨	(t) @=8×9×44/12
.444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び執	び その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	199,634.2	9.97	1,990.4	0.4890	97.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<b>/</b> \(\dagger\)	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	191,000.6	9.76	1,864.2	0.4890	93.4
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,854.5		191.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	4,786.2			0.2660	1.3
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	4,786.2			0.4000	1.9
		合 計							<sup>(16)</sup> 3.2

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
4	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
公日 幺	織体制の整備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
<b>小口</b> .	₩ 仲 町 ♥ 産 畑				
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	Broo	
使丿	用状況の把握		1		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C113	中間期における外気冷房の実施
工				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ネル				C521	利用客数別燃料使用量の把握
ギー		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D103	空調フィルターの清掃・点検	D103	その他設備の定期的な保守・点検
策	設備保守対策	D104	土間ノイルグ   V/月3市・点/映	D100	での一個政権の定例中がよ床り・小人
		F1.00		F101	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	1			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

_		4	記	#	<del>-</del> -	7
6	) 4	拝	ᆵᅼ	#	LΨ	Æ

・高輪いきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)、高輪児童館(区が運営・管理)を併設。・地中熱設置施設

#### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	みな	よと伊	<b>R健</b>	所															
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	5	4									
					₹	1	0	8	-	0	0	7	3	区	市	町	村	名	東京都港	港区			
事	業所	等の	所 在	: 地	町は以	名 番	<b>地下</b>	三田	1丁	目4番	10号												
事	業所等	等の	延床面	ī 積		7	,525	5.42	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	■ 1年	度分		1年未	満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	自		] 他	1.者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	ノト	)			〕建物の	の一部	3(その	つ他)	
報	告範囲	圏の主	三たる月	月途		事務工場						商業 複合			勿貝	反)			<ul><li> 商業が</li><li> その値</li></ul>	施設(1 也	飲食)		
	本 標 おける	5細2	分類種	号号	8	4	1	1	追	連鎖化	/事業	美区2	分			直営				盟店		非該当	当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ネル	ギー	一電	気	□ 証書の利	書による 対用	環境	価値	
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	①	129	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	248	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	\$	2.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	燃料等の	種別	推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(c) (0)=(8)×(9)×44/12
AA.I	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	118.9	45.00	5.4	0.0136	0.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	503,381.0	9.97	5,018.7	0.4890	246.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 5,024.1		246.4
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,815.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,971.0			0.4000	1.6
	_	合 計							2.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

地冰血吸化刈水	の夫他仏							
		重点対策		その他対策				
	対策番号	対策名	対策番号	対策名				
	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定				
☆ 14 × 11 ↑ ★ 14	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善				
献 平 刊 の 登 佣	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計				
			A208	組織横断的な推進体制の整備				
) ) ) (t/t)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握				
	B105	エネルギー使用量の前年度比較						
11 V DE 42 10 DE								
	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施				
	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止				
	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化				
	C506	余熱利用による早めの空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施				
運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止				
			C131	出入口等の開口部付近の空調停止				
			C132	開け放し開口部面積の縮小				
			C115	事務用機器を業務終了時に停止				
			C116	個人用端末の不用・離席時の停止				
	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃				
凯 供 伊 宁 ≯ 笙	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検				
故 佣 休 寸 刈 來	D104	空調フィルターの清掃・点検						
	D106	ボイラ等の定期点検の実施						
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置				
設 備 道 λ 分 箸								
以州寺八八八水								
	職体制の整備 ネルギー等の 用状況の把握	<ul> <li>対策番号</li> <li>A202</li> <li>A203</li> <li>A204</li> <li>R A204</li> <li>B B B B D D B B D D D D D D D D D D D D</li></ul>	織体制の整備       A202       温暖化対策推進担当の配置         A203       具体的な取組目標と内容の設定         A204       取組状況の点検体制の構築         B101       自ら入手可能な情報に基づく把握         B105       エネルギー使用量の前年度比較         C101       空室・不在時等のこまめな消灯         C106       冷暖房温度を都の推奨値へ変更         C504       利用状況に応じた空調の設定変更         C506       余熱利用による早めの空調停止         C508       空室・不在時等の空調停止         D101       ランプ等の定期的な清掃・交換         D103       中央熱源機器等の定期点検の実施         D104       空調フィルターの清掃・点検         D105       ボイラ等の定期点検の実施         E103       高効率照明器具の採用(屋内)	重点対策   対策名   対策名   対策番号   対策番号				

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有 ■ 無									
	ベンチマーク区分	ランク	ク CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)							
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

## 6 特記事項

•地中熱設置施設。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	神明	月い	きい	きプ	ラザ														
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	5	5									
					Ŧ	1	0	8		0	0	7	3	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 σ.	所在	地	町以	名 番	<b>地下</b>	三田	1-4-	-10													
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		9	,907	.24	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	■ 1 <sup>4</sup>	年度分	[	<b>1</b>	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	<b>/</b> }	.)			〕建物	初の一音	郭(そ	の他	<u>h</u> )
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿貝	反)			〕 商業 <b>』</b> その	美施設()他	飲食	٤)	
日に	本 標 おける				8	5	4	9	連	鍾俏					Į	直営	店			盟店	I	<b>■</b> ∌	丰該当
再の	生可能	能工 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ネル	ギー	一電	気		:書によ :利用	る環境	竟価	値
前か	年度らい	の 執 の <i>薬</i>		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 271	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 515	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 5	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 520	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 51.9	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計				熱量	二酸化炭素排出量			
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1		
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(水) (9)	(t) (0=8×9×44/12		
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
燃料	その他()				0.0						
及	その他()				0.0						
び熱	その他()				0.0						
This	その他()				0.0						
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	1,054,745.1	9.97	10,515.8	0.4890	515.8		
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
規貝	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
		合 計					<sup>(4)</sup> 10,515.8		515.8		
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	8,414.3			0.2660	2.2		
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	9,117.9			0.4000	3.6		
		合 計							5.9		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の気	巨協狀況
-	コウルバー・ローク コークエクマンフ	ヒカバイハイカ

	<u> 地球価唛化刈束</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
幺日 幺	織体制の整備			A216	所内会議・研修会等で報告
形丘	取件的少金油				
т.	ネルギー等の	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握				
			strate - A tomb tele a control No.		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
省				C130	エレベータ運転台数の制限
エ					
ネル					
ギ					
1.1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
<b>/</b> R		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E103	<b>立</b>	E130	全熱交換器の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		·
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E135	エレベータのインバータ制御
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況	目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無無										
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%							
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t							
	その他	特記事項に内容を記載	特記事項に内容を記載								

## 6 特記事項

・神明子ども中高生プラザ(指定管理者が運営・管理)、神明保育園(区が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。・ガスの使用なし。ボイラーの設置なし。地中熱設置施設。

#### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	港區	有子。	ども	中高	生ご	プラサ	۴												
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	5	6									
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	5	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等の	所在	: 地	町以	名 番	<b>地下</b>	港南	i4-3-	-7													
事	業所等	等の タ	延床面	〕積		6	,875	5.32	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の間	■ 1 <sup>4</sup>	F度分		] 1	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一¦	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			〕建物	の一音	『(そ	の他	<u>h</u> )
報	告範囲	の主	建	□ 事務所 □ 工場				<ul><li>□ 商業施</li><li>□ 複合施</li></ul>						施設(物販) □ 商業施設(飲食) 施設 ■ その他						;)			
目に	本 標 おける				8	5	3	1	追	連鎖化	と事業 かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	美区约	分		Œ	直営	·店		□加	盟店		■ ∌	丰該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	マル	ギー	一電	気		書によ 利用	る環境	竟価値	恒
前か	年度らる	の 新 カ 変		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	144	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	275	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 279	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 39.9	$kg-CO_2/m^2$

燃料等の種別		推計の	単位	使用量	係数	熱量	二酸化炭素排出量排出 排出量*1		
		使用	甲亚	6	<b>⑦</b>	(GJ) (S=(6)/1000)×7	係数	(t) (m=8×9×44/12	
都市ガス				$\mathrm{Nm}^3$	5,883.1	45.00	264.7	0.0136	13.2
燃料	その他()				0.0				
及	及 その他()				0.0				
び 熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	536,198.0	9.97	5,345.9	0.4890	262.2
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>※2</sup>		<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						<sup>(4)</sup> 5,610.6		275.4	
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,593.0			0.2660	1.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	6,881.0			0.4000	2.8
	合 計								4.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	<u> 地球価唛化刈束</u>		重点対策	その他対策			
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定		
組織体制の整備-		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計		
				A208	組織横断的な推進体制の整備		
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握		
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較				
ζ	11 1/ 00 12 10 12						
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止		
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施		
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止		
	運 用 対 策			C131	出入口等の開口部付近の空調停止		
省エネルギー対策				C132	開け放し開口部面積の縮小		
				C115	事務用機器を業務終了時に停止		
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止		
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃		
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検		
		D104	空調フィルターの清掃・点検				
				E136	デマンドコントローラの設置		
	設備導入対策			E143	地中熱ヒートポンプの導入		
	BY MII 44 / 1/11 /K						

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無			_		
	ベンチマーク区分	5	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	k	${\rm kg-CO_2/m^2}$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・たかはま保育園を併設。当該施設は、指定管理者が運営・管理。・雨水を使用しているため、下水が多い。・地中熱設置施 設

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	檜岡	丁公	慰																
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	8									
					Ŧ	1	0	7		0	0	5	2	区	市	町	村	名	東京都港	区			
事	業所	等 ₫	所在	地	町以	名 番	<b>地下</b>	赤坂	9丁	∃7番	9号												
事	業所等	等の	延床面	ī 積		16	,370	0.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使		年 月 ‡		の 間	■ 1年	度分		1年末	き満
所	有	Ī	形	態		自己	引所不	j		〕他	1.者所	有											
報	告	î	範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	『(ラ	ナン	/F)	)			建物の	一部	(その	つ他)	
報	告範囲	目の主	こたる月	月途		事務						商業			勿販	<u>(</u> )			商業施		飲食)		
L	I I I I I	\#!t		James	Ш	工場	ซี่ ซี				Ш	複合	他	<b></b>					その他	1			
日に	本 標 おける		ミ業 分 分類 番		8	0	5	1	通	鎖化	(事業	美区2	分		直	I営	店		□ 加盟	見店		非該	当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	ネル	ギー	-電	気	□証書の利	序による J用	環境	価値	
前か	年度らい	の 執 の 多	是 告 内	容点																			

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	⊕ 36	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 75	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 4.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(水) (9)	(t) 10=8×9×44/12
J.A.I.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
W	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	142,623.0	9.97	1,422.0	0.4890	69.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<b>i</b> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 1,422.0		<sup>15</sup> 69.7
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	9,207.0			0.2660	2.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	9,207.0			0.4000	3.7
		合 計							6.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

			重点文				その他対策		
		対策番号		対策名		対策番号	対	策名	
						A208	組織横断的な推進	<b>進体制の整備</b>	
组 糸	職体制の整備								
<u> </u>	W II IN S TE VIII								
r :	ネルギー等の	B102	関連他者からの			B106	過去のデータによ	る傾向の把握	
吏丿	用状況の把握	B105	エネルギー使用	用量の前年度と	比較				
	運用対策								
省									
エネ									
イル									
ギ									
l 対									
策	設備保守対策								
	設備導入対策								
	設備導入対策								
	設備導入対策								
実績	設備導入対策	の状況	□目標達成	<b>艾した。</b>					
	<b>賃年度の目標達成</b>			<b>対した。</b>	]				
5 3	電年度の目標達成 提出年度の地球	温暖化対	策の目標	対した。					
5 3	<b>賃年度の目標達成</b>	温暖化対口	策の目標■無	<b>対した。</b>	]				
5 }	養年度の目標達成 提出年度の地球標の 有 無	温暖化対 口 有 ベンチマー	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>	対した。	ランク		2削減率(前年度比)		%
5 }	電年度の目標達成 提出年度の地球	温暖化対 口 有 ベンチマー	策の目標■無	<b>対した。</b>	ランク kg-CO		2削減率(前年度比) 2排出量(総量)		%
5 }	養年度の目標達成 提出年度の地球標の 有 無	温暖化対 口 有 ベンチマー	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>	対した。	kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			%
5 }	養年度の目標達成 提出年度の地球標の 有 無	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
目標	養年度の目標達成 提出年度の地球標の 有 無	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
目標	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			9
目標	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
目標	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
5 月	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
5 · 1 目 目標	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			%
5	養年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標値等(選択) 特記事項	温暖化対 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
5	電年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標の有無 種値等(選択)	温暖化対 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t
5	養年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標値等(選択) 特記事項	温暖化対 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			t t
5	養年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標値等(選択) 特記事項	温暖化対 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			t
5	養年度の目標達成 提出年度の地球標の有無 標値等(選択) 特記事項	温暖化対 □ 有 ベンチマー CO₂排出量 その他	策の目標 ■ 無 <sup>ク区分</sup>		kg-CO	<sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO			% t

## 1 事業所等の概要

	4 /14/	> 1 · 3	- 100	<u> </u>																	
事	業 彦	<b>デ</b> 等	のク	名 称	高輔	淪子.	ども	中高	生フ	プラサ	ř										
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	5	9							
+	лк <b>-</b> -с	hite a	, <del>, ,</del> ,	<del>/</del> 1116	Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	4	区	市町	「村	名東	京都港	基区		
争	業所	等 ()	)所,	仕地	町。以	名 番	争 地 下	高輪	ì1-4-	-35											
事	業所	等の	延床	面積		3	3,297	.12	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル						の 間	■ 1年	度分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	已所有	Ī		] 他	1者所	有									
報	벋	î	範	囲		建物	カの刍	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/ト)			建物	の一部	(その	)他)
報	告範囲	圏の主	三たる	用途		事務 工場						商業複合			物販)			商業がその他	施設(創 也	飲食)	
日に	本 標 おけ				8	5	3	1	追	鍾俏	(事業	美区2	分		直包	営店		] 加盟	盟店		非該当
再 の	生可利	能 エ 用	ネル 状					エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ベルギ	一電	気[	コ 証書の利	書による 引用	環境位	<b></b> 面值
前か	年度ら		B 告 変 更																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 52	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	<b>4</b> 101	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 30.3	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計	畄位	//. III II	~ W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>原数</b> ⑨	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
L#L	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	166,153.3	9.97	1,656.5	0.4890	81.2
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	39,657.0	9.28	368.0	0.4890	19.4
<i></i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>%2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,024.6		100.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,911.4			0.2660	0.5
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	1,911.4			0.4000	0.8
		合 計							1.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
_	21'' 18'N 11111 BAZ 11 'A' 1 AK V Z Z Z MBAN 171'

			重点対策		その他対策				
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供				
<b>√</b> □ <b>√</b>	並 45 生 の 動 1生	A203	具体的な取組目標と内容の設定						
<b>市</b> 丑.	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築						
	) ) ) (//	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握				
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較						
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施				
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化				
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施				
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止				
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止				
省				C132	開け放し開口部面積の縮小				
日上				C115	事務用機器を業務終了時に停止				
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止				
ルギ				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減				
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検				
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検						
	設備導入対策								

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

目標の有無	□ 有 ■ 無											
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%							
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t							
	その他	特記事項に内容を記載	寺記事項に内容を記載									

## 6 特記事項

・当該施設は、指定管理者が運営・管理。

## 1 事業所等の概要

_	1. /10/	Z 1 -4	1700																			
事	業別	f 等	の名	名 称	桂坝	反保	育室	(港	区係	育	室)											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	6	1								
+	₩ =-	kk a	\ =r' -	<del>/-</del> 116	Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	4	区	市	打 木	十 名	東京	都港区	[		
争	業所	等 0.	)所,	住地.	町。以	名 番	地下	高輪	3丁 [	∄19≹	≸36号	<u>1</u> .										
事	業所	等の	延床	面積		2	2,201	.27	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル								1年度	分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有										
報	芒	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	/ト)			〕建	物の-	一部(	(その	他)
報	告範囲	圏の主	三たる	用途		事務工場						商業複合			勿販	)			i業施記 の他	没(飲	(食)	
日に	本 標 おける				8	5	3	1	追	運鎖化	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		直	営店	i		加盟原	吉		非該当
再の	生可 利	能 エ 用	ネル 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生の受		ニエネ	マルコ	ř-f	電気		証書にの利用		環境信	<b>西値</b>
前か	年度ら		设告   定 更																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 56	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 110	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 49.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u> — 取几次希牙</u>	推計				熱量	二酸化	炭素排出量	
燃料等の種別			の	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) =8×9×44/12
.141.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	6,152.8	45.00	276.9	0.0136	13.8
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
が熱	び その他()				0.0				
77.5	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	197,891.0	9.76	1,931.4	0.4890	96.8
規貝	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,208.3		110.6
その				$\mathrm{m}^3$	6,302.0			0.2660	1.7
他 公共下水道				$\mathrm{m}^3$	6,302.0			0.4000	2.5
		合 計							<sup>(16)</sup> 4.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

	<u> 但外価收几剂水</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
幺日 幺	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>水丘</b>	取 仲 町 ジ 笠 浦	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	a w the o	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の    状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100 /	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
省				C132	開け放し開口部面積の縮小
ュ				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ルギ				C503	利用客数の時間帯別把握
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
水	政师体引列来				
		_		E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				
	双洲等八刈水				

目標の有無	□ 有 ■ 無			-
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 4	等記	,事.	頃
-----	----	-----	---

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	芝伊	呆育	慰															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	6	3								
					₹	1	0	5	_	0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京都港	区		
事	業所	等 ₫	所在	: 地	町以	名 番	<b>地下</b>	芝5¯	丁目1	.8番1	号10	1										
事	業所等	等の	延床面	ī 積		1	,123	3.49	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の間	■ 1年度	度分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有										
報	告	î	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/ト	)			■ 建物の	一部	(その	)他)
報	告範囲	目の主	三たる月	月途		事務工場						商業 複合			勿則	夏)			〕商業施 ■ その他		次食)	
月 に	本 標 おける		毛 業 分 分 類 番		8	5	3	1	連	連鎖化	1事業				Œ	宜営	·店		□加盟			非該当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	マル	ギー	一電	気	□ 証書の利	による 用	環境	価値
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 94	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 179	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 7	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 159.3	$kg-CO_2/m^2$

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	<u> </u>	推計			係数	熱量	二酸化	炭素排出量	
燃料等の種別			の	単位	単位 使用量		然重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) =8×9×44/12
	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	27,245.2	45.00	1,226.0	0.0136	61.1
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	242,600.5	9.97	2,418.7	0.4890	118.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計							<sup>(14)</sup> 3,644.8		<sup>15</sup> 179.8
その				$\mathrm{m}^3$	10,701.8			0.2660	2.8
他 公共下水道				$\mathrm{m}^3$	10,581.3			0.4000	4.2
		合 計							<sup>16</sup> 7.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

4:	地球温暖化対策	の美胞状			
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
VΠ «	か 仕 型 の 軟 供	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和工	織体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
	) 18 htt -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
100 /	11 1/1 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策	C506	余熱利用による早めの空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
エ				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ				C129	季節に応じた温度設定の見直し
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
水	以佣床与对求				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
	設備導入対策				
	以用等八刈水				

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

# 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無									
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%					
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t					
	その他	特記事項に内容を記載								

## 6 特記事項

・みなと子育て応援プラザPokkeを併設。区分所有(都営住宅と併設)。

#### 1 事業所等の概要

	3 /10/	∑ 1 ·1	1700	<u> </u>																		
事	業月	f 等	Ø 3	名 称	伊』	Ⅱ子:	坂保	育園														
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	6	5								
+	<b>₩</b> →	k-k-	, <sub>1</sub> -	<b>→</b> 116	₹	1	0	8	_	0	0	7	3	区	市田	丁村	名	東京都	都港区			
争	業所	等 (	ク所	仕 地	町。以	名番	新地 下	三田	4丁	∄19≹	昏30号	<u>1</u> .										
事	業所	等の	延床	面積		1	,664	.82	$m^2$		業 所 ネ ル					· 度 期	の間	<b>1</b>	年度分	}		1年未満
所	有	Î	形	態		自己	引所有	j		□ 他	1者所	有										
報	겉	1	範	囲		建物	カの含	产部		] 建	物の	)一音	写(テ	ナン	/ト)			建	物の一	部(>	その	他)
報	告範囲	∄の∃	主たる	用途		事務 工場						商業複合			勿販)				業施設 の他	(飲:	食)	
日に	本標おける				8	5	3	1	追	連鎖化	(事業	<b>美区</b> 2	分		直,	営店			加盟店			非該当
再の	生可利	能 エ 用	ネル 状					エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ベルギ	一電	意気		証書に』 の利用	よる環	:境佃	i值
前か	年度ら		报 告 変																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 49	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	93	t
排 出 量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 95	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 55.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
dal	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	16,606.2	45.00	747.3	0.0136	37.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
7615	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して			kWh	115,976.0	9.97	1,156.3	0.4890	56.7
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,903.6		94.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,415.0			0.2660	0.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,415.0			0.4000	1.4
		合計							2.3

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
_	21'' 18'N 11111 BAZ 11 'A' 1 AK V Z Z Z MBAN 171'

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
組織	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
WIT I	以下 ID シ 正 III				
		D101	5 2 7 7 44 6 15 to 10 15 to 2 1 mm	D100	n+ 88 +L) = 3/L/m) = lm ID
エン	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策				
省					
エネ					
ル					
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
対策	設備保守対策				
ベ					
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E115	トップフード照明の導入
		L100	[H////十/////11//正广]	E113	太陽光発電設備の導入
	設備導入対策			F141	

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

目標の有無	□ 有 ■ 無										
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%							
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t							
	その他	特記事項に内容を記載									

0	特記事項
6	(本部) <del>11</del> 11

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	芝生	人園	保育	園															
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	6	9									
					Ŧ	1	0	5		0	0	1	1	区	市	町	村	名	東京都澤	巷区			
事	業所	等の	所在	: 地	町以	名 番	<b>地下</b>	芝公	:園2-	7-3													
事	業所等	等の タ	延床面	〕積		2	,649	.71	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の間	■ 1年	度分		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		〕他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一 🛱	写(テ	ナン	<b>/</b> }	)			〕建物	の一部	3(そ)	の他)	
報	告範囲	の主	こたる月	自途		事務工場						商業 複合			勿則	灵)			〕 商業』 <b>』</b> その(	施設(1 池	飲食	)	
日に	本 標 おける				8	5	3	1	連	鍾俏	乙事業				Œ	直営	·店			盟店		非	該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 况				エネ 設置		一発		再生 の受		エオ	ネル	ギー	一電	気		書による 利用	5環境	価値	
前か	年度らい	の 執 の 黎		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 69	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 132	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 49.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	<u> → ÞX [□////// 1//</u>	山里守切叭						一戒ル	炭素排出量
燃料等の種別			推計のは出	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(C) (I)=(8)×(9)×44/12
.141	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,698.5	45.00	976.4	0.0136	48.7
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱					0.0				
77.5	その他()				0.0				
	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	171,922.7	9.97	1,714.1	0.4890	84.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 <b>計</b>						<sup>(14)</sup> 2,690.5		132.8
その				$\mathrm{m}^3$	3,016.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,016.0			0.4000	1.2
		合 計							<sup>16</sup> 2.0

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の気	巨協狀況
-	コウルバー・ローク コークエクマンフ	ヒカバイハイカ

4	地球温暖化対策	ツ夫旭仏		ı	7 0 16 + 1/4
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>⊘</b> П ⟨	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土 7	は 平 市 り 登 浦	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	in the second	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	. ,				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
	運用対策			C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
工				C132	開け放し開口部面積の縮小
ネル				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
- 対				D109	換
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
	設備導入対策				

目標の有無	□有■無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	を(選択) CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

・照明は調整機能を使用し、明るさの微調整を行っている。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	芝派	<b>非橋</b>	保育	室(	港区	【保育	育室)	)											
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	0									
					₹	1	0	8	-	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 €	所 在	:地	町以	名 番	<b>地下</b>	芝浦	i4-(	6-8	田町	ファー	ースト	ビル	2階	Ŀ I							
事	業所等	争の	延床面	面積		1	,501	.45	$m^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・ 使				の 間	■ 1年	F度分		] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	上所有	j		■他	者所	有						_					
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		建	物の	)一岸	写(ラ	ナン	ノト	)			〕建物	1の一音	『(そ	の他	Ţ)
却	告範囲	i o i	: たスE	日冷		事務	所					商業	羊施詞	没(华	勿貝	页)			〕商業	施設(	飲食	)	
+IX	口甲凸口	107 1	100)	11 (2)		工場	1 7					複合	施調	没					その	他			
日に	本 標 おける				8	5	3	1	連	鍾俏	/事業	<b>美区</b> 2	分		Ц	直営	店		□加	盟店		■ 非	該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エス	ネル	ギー	一電	気		書によれ 利用	る環境	き価値	直
前か	年度らい	の 執 の <i>多</i>		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 72	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 137	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 138	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 91.2	$kg-CO_2/m^2$

							熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	推計の	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1	
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) ::(0)=(8) × (9) × 44/12
J.A.I.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	280,333.0	9.97	2,794.9	0.4890	137.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 2,794.9		137.1
その				$\mathrm{m}^3$	1,833.0			0.2660	0.5
他				$\mathrm{m}^3$	1,833.0			0.4000	0.7
		合 計							1.2

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
-	

	<u> 地球                                   </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ <b>√</b>	並み割の動法	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上市	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
	運用対策			C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C123	温湿度の適正管理
日工				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
ネ				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
ルギ				C132	開け放し開口部面積の縮小
1		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載	•	

## 6 特記事項

・区分所有(民間ビル)。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	麻木	方子。	ども	中高	生っ	プラサ	ř												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	2									
					Ŧ	1	0	6	-	0	0	4	7	区	市	町	村	名	東京都湖	港区			
事	業所	等の	所在	地	町。	名 番	<b>地</b> 下	南麻	布4	丁目6	-7												
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		5	,017	.91	$m^2$		業 所 ネ ル		の 					の 間	■ 1年	度分		1年	未満
所	有	•	形	態		自己	引所不	j		] 他	1.者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナ	ント	)			建物	の一音	『(そ)	の他)	
也	告範囲	I M T	・たる日	日次		事務	所					商業	(施)	没(非	勿則	叉)			〕商業	施設(	飲食	)	
丰区	口型四	リマノエ	:/_\@/I	月还		工場	<u>=</u> 7					複合	施詞	没					Ⅰ その作	也			
日に	本 標 おける				8	5	3	1	通	連鎖化	乙事業	美区约	分		] []	宜営	·店		□ 加盟	盟店		非	該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエン	ネル	ギー	一電	気		善による 河用	5環境	価値	
前か	年度らり	の 新 カ 変		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 135	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	262	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 266	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 52.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

		山里寺の川帆	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	然重 (GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) @=8×9×44/12
.444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	43,876.5	45.00	1,974.4	0.0136	98.5
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
200	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	243,423.1	9.97	2,426.9	0.4890	119.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	92,285.8	9.28	856.4	0.4890	45.1
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(4)</sup> 5,257.8		<sup>(15)</sup> 262.6
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,218.0			0.2660	1.7
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	7,400.0			0.4000	3.0
		合 計							<sup>16</sup> 4.6

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の気	巨協狀況
-	コウルバー・ローク コークエクマンフ	ヒカバイハイカ

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>√</b> □ <b>√</b>	***			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
和上市	織体制の整備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
	)	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
省工					
ネルジ					
ギー		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対 策	設備保守対策				
				E125	高輝度誘導灯の導入
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	ex nn 44 / 1/11 Nr			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E130	全熱交換器の導入

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・本村保育園(区が運営・管理)、ありすいきいきプラザ(指定管理者が運営・管理)を併設。当該施設は指定管理者が運営・ 管理している。・雨水利用のため、下水が多い。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	西原	年	いき	いき	プラ	ザ													
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	3									
					₹	1	0	6	_	0	0	3	1	区	市	町	村	名	東京都	港区			
事	業所	等 <i>の</i>	所 在	土地	町。以	名 番	地下	西麻	布二	丁目	13番	3号											
事	業所等	等の タ	延床面	前積		4	,723	3.89	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の 			年   		の 間	■ 1 <sup>4</sup>	<b>F度分</b>		] 14	年未満
所	有	•	形	態		自己	引所有	j		〕他	1者所	有											
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナ	ノト	)			〕建物	<b>J</b> の一普	羽(そ	の他	Ţ)
報	告範囲	の主	こたる月	用途		事務工場						商業 複合			勿則	反)			〕 商業 <b>』</b> その	達施設( 他	飲食	)	
	本 標 おける	5細2	分類種	多号	8	5	4	9			上事業	美区约	分		匪	直営	店		□加	盟店		■非	該当
再の	生可能	能工 用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生の受		エク	ネル	ギー	-電	気		書によ 利用	る環境	き価値	直
前か	年度らい	の 勃		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 121	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	234	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
	総計(④=②+③)	4 237	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 49.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	(水) (9)	(t) 10=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	36,688.4	45.00	1,651.0	0.0136	82.3
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
This	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	274,699.0	9.97	2,738.7	0.4890	134.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	36,092.0	9.28	334.9	0.4890	17.6
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	川第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>*</sup> 2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 4,724.7		234.3
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	7,147.0			0.2660	1.9
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,991.0			0.4000	1.6
		合 計							3.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
  - ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
<b>√</b> □ ⟨	並み割の動性			A213	推進担当者の知識向上・内部還元
和上	職体制の整備			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
	)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B106	過去のデータによる傾向の把握
	11 -1/4 1/2 -2 1/2 1/2			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C311	季節に応じた温度設定の見直し	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省		C315	水道メータ等で漏水の有無の点検	C317	その他設備の不使用時の停止
エ					
ネ					
ルギ					
Ì		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
朿	設 佣 体 引 刈 來				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	以用守八刈R			E130	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 □	目標達成した。
----------------	---------

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%	
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量)				
	その他	特記事項に内	内容を記載				

## 6 特記事項

・西麻布保育園(区が運営・管理)、子育てひろばあっぴぃ西麻布(委託業者が運営・管理)を併設。・雨水利用のため、下水が多い。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	シラ	<del>-</del> イ/`	イツ	港南	有(‡	<b></b> 中	部)												
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	5									
					₹	1	0	8	-	0	0	7	5	区	市	町	村:	名〕	東京都	港区			
事	業所	等 0	所有	E 地	町以	名 番	争 地 下	港南	3丁	目3-1	17												
事	業所等	等の	延床百	面積		8	3,627	.00	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の 間	■ 1 <sup>4</sup>	年度分	.		年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1.者所	有											
報	告	Ì	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/h]	)			建物	初の一覧	部(そ	<u>-</u> のf	也)
七口	告範囲	I M T	ーたスト	田之		事務	所					商業	(施言	殳(牛	勿則	<u>(</u> )			商業	羊施設	(飲食	)	
平区	口単凸口	ロマノユ	-/~~/	17 )处		工場	크 7					複合	施調	艾					その	他			
	本 標 おける				6	9	2	1	通	連鎖化	乙事業	<b>美区</b> 2	分		直	ī営	店		口加	盟店		<b>=</b> -	非該当
再の	生可能	能工 用	ネルジ 状	ギ ー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エオ	ネル	ギー	-電	र्ज्		:書によ :利用	る環	境価	値
前か	年度らい	の 報 の <i>薬</i>		存点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エス	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 92	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 175	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup>	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 20.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) 10=8×9×44/12
del	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(軽油)			L	60.0	37.70	2.3	0.0187	0.2
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	357,760.0	9.97	3,566.9	0.4890	174.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
/((	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>í</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(1)</sup> 3,569.1		175.1
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	676.0			0.2660	0.2
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	676.0			0.4000	0.3
		合 計							0.5

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
_	21'' 18'N 11111 BAZ 11 'A' 1 AK V Z Z Z MBAN 171'

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
<b>糸日</b> 糸	織体制の整備				
WATE 1	帐件III ♡ 正 III				
~ .	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ポポー等の用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
,	7. 7. 7. 7.			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
省				C115	事務用機器を業務終了時に停止
工				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
ルギ				C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
水	以用下り刈水	_			
		_			
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
	設備導入対策				
	以哪等八刈水				

実績年度の目標達成の状況	□目標達成した。	
--------------	----------	--

目標の有無	□ 有 ■ 無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> C	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・シティハイツ港南の報告対象範囲は1階ロビー部分と4階から25階の共用部である。

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	麻石	有保 <sup>®</sup>	育園																
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	7	6									
					Ŧ	1	0	6		0	0	3	2	区	市	町	村	名	東京都港	港区			
事	業所	等 ₫	所 在	土地	町以	名 番	i 地 下	六本	木5	丁目1	6-4	6											
事	業所等	等の	延床面	前積		2	,355	5.07	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 ; · 使				の 間	■ 1年	度分		1年	未満
所	有	Ī	形	態		自己	上所有	j		〕他	者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナ	ント	)			〕建物の	の一部	3(その	の他)	
報	告範囲	目の主	こたる月	月途		事務						商業			勿貝	反)				施設(1	飲食	)	
	L. Ind	>/44 <del>-</del>	e 3116 A)	Ver		工場	ij	1			Ш	複合	)他自	<b></b>					その作	也			
日に	本標おける		ミ業 分 分類 番		8	5	3	1	追	鎖但	/事業	美区2	分			直営	店		□加盟	盟店		非語	该当
再の	生可能	能工用	ネルキ 状	デー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エン	ネル	ギー	一電	気	□ 証書の利	書による 引用	5環境	価値	
前か	年度らい	の 執 の 多		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 88	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 169	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	4 171	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 71.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

			推計		//. E. B	- W	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
L#L	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	21,487.8	45.00	966.9	0.0136	48.2
燃料	その他()				0.0				
及	その他()				0.0				
び熱	その他()				0.0				
77.	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	247,958.0	9.97	2,472.1	0.4890	121.3
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i></i>	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>%2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 3,439.1		169.5
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,637.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,942.0			0.4000	1.6
		合 計							2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

	<u>地球価唛化刈束</u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>∳□</b>	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和上前	戦や前の登漏	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	) - 18 - 66 -	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 1/1 1/1 1/1 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
エ				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
ネ				C502	採光を利用した消灯の実施
ルギ				C507	温度計等による室温の把握と調整
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
水	政师体引为来				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E136	デマンドコントローラの設置
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	以哪等八刈來				

天碩 中及の日保	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
----------	--------------	--	---------

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$\mathrm{kg}\text{-}\mathrm{CO}_{2}/\mathrm{m}^{2}$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6	特記事項
n	符記事坦

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	しに	ぼうら	保育	園																
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	7	7										
	W	1.1.			₹	1	0	8	_	0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京都	都港区				
事	業所	等 0	) 所在	: 地	町。以	名 番	* 地 下	芝浦	3丁	∄1-1	16													
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		6	5,597	<b>.</b> 53	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> 使				の 間		l年度?	<del>े</del>		1年未	き満
所	有	•	形	態		自己	引所有	自		〕他	1.者所	有												
報	告		範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	ノト	.)			] 建	物の一	·部(	その	他)	
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿貝	反)				業施設 の他	と(飲	(食)		
	本 標 おける	か 細 ク	分類番	号号	8	5	3	1	連	鍾俏	/事業					直営				加盟店	î		非該	当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	ネル	ギー	一電	気		証書に の利用	よるタ	環境	西値	
前か	年度らい	の 勃		容点																				

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 321	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 582	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 4	t
	総計(④=②+③)	<sup>(4)</sup> 586	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	® 88.2	$kg-CO_2/m^2$

		推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量	
燃料等の種別			の 使用	単位	灰川里	尔奴	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			12/13		6	7	8=(6/1000)×7	9	10=8×9×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	4,528.8	45.00	203.8	0.0136	10.2
燃料	その他(産業用	以外の蒸気)		MJ	2,099,109.0	1.36	2,854.8	0.0600	125.9
及	及 その他(冷水)			MJ	2,230,300.0	1.36	3,033.2	0.0600	133.8
び執	び きの他()				0.0				
753	だ その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	639,207.0	9.97	6,372.9	0.4890	312.6
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
<i>&gt;</i> \(	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>1</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
						<sup>(14)</sup> 12,464.7		<sup>15</sup> 582.5	
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,068.0			0.2660	1.6
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	6,068.0			0.4000	2.4
合 計									4.0

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の気	巨協狀況
-	コウルバー・ローク コークエクマンフ	ヒカバイハイカ

	也冰価吸化剂來		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆日 ≪	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
形土	取 仲 削 り 笠 加	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A208	組織横断的な推進体制の整備
	} , W ## @	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
	11 1/1 1/2 1/2 1/2			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
エ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
ルギ					
1		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
朿	設 佣 体 寸 刈 來				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
	以册等八刈尔				

目標の有無	□有■無										
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%						
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)		t						
	その他	特記事項に内容を記載									

## 6 特記事項

・地域冷暖房の使用がある。・あっぴい芝浦(委託業者が運営・管理)を併設している。

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	元原	<b>东</b> 布	保育	園															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	0									
					₹	1	0	6	_	0	0	4	6	区	市	町	村	名	東京都	『港区			
事	業所	等 0	所在	地	町。以	名 番	地下	元麻	·布2·	-14	-12												
事	業所等	等の	延床面	ī積		3	,087	7.72	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル		の :					の間	<b>1</b>	年度分			1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		〕他	1.者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一 🛱	『(テ	ナン	<b>/</b> }	)			〕建物	物の一	部(~	その	他)
報	告範囲	圏の主	三たる月	月途		事務工場						商業 複合			勿則	₹)			〕 商業 ■ その	能施設 と他	(飲:	)	
日に	本 標 おける		<ul><li> 業 分</li><li>分 類 番</li></ul>			5	3	1	連	鎮化	と事業				Œ	宜営	·店			四盟店			非該当
再の	生可能	能 エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		エネ	マル	ギー	-電	気		E書によ )利用	る環	境価	盾值
前か	年度らい	の 執 の <i>羽</i>		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 81	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 155	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	t
	総計(④=②+③)	4 157	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 50.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	- BY ( B) ( ) ( )	田東社の山脈	推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0=8×9×44/12
	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	27,100.2	45.00	1,219.5	0.0136	60.8
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()	)			0.0				
703	で その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	194,311.0	9.97	1,937.3	0.4890	95.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890 (3) 0	
		合 計					<sup>(4)</sup> 3,156.8		155.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	3,769.0			0.2660	1.0
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	3,769.0			0.4000	1.5
		合 計							<sup>(16)</sup> 2.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

4:	地球温暖化对策	の夫他仏		T	
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> □ <b>√</b>	並 45 生 の 動 1生	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
和扩	職体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	Bivo	
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C502	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
省		C506	余熱利用による早めの空調停止		
エネ					
ルギ					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 □ 目標達成した。
------------------------

目標の有無	□有■無										
	ベンチマーク区分	ランク CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比) %									
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量) t									
	その他	特記事項に内容を記載									

6	特記事項
n	将 記 <del>手</del> 坦

(日本産業規格A列4番	÷)

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	青山	山保 <sup>·</sup>	育園																
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	1									
					₹	1	0	7	_	0	0	6	1	区	市	町	村	名	東京都港	区			
事	業所	等 0	)所 在	E 地	町以以	名 番	i 地 下	北青	祖3-	-4-	1-1	101											
事	業所等	等の	延床面	面積		2	,119	.77	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の 間	■ 1年月	度分		1年末	卡満
所	有	Ī	形	態		自己	上所有	j		」他	者所	有											
報	告	i i	範	囲		建物	カの生	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/h]	)			建物の	一部	(その	つ他)	
報	告範囲	目の主	こたろ月	目徐		事務	新					商業	能能	殳(牛	勿則	₹)			商業旗	拖設(食	飲食)		
11/4						工場	<u>1</u>					複合	施調	没					その他	1			
日に	本 標 おける				8	5	3	1	追	鎮化	/事業	美区2	分		直	I営	店		□ 加盟	且店		非該	当
再の	生可能	能 エ 用	ネル <sup>コ</sup> 状	ギー 況				エネ 設置	ルギ	一発		再生 の受		ニエネ	ネル	ギー	-電	気	□ 証書の利	序による J用	環境	価値	
前か	年度らり	の 執 の 多		容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 67	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 130	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 1	t
	総計(④=②+③)	4 131	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>(5)</sup> 61.3	$kg-CO_2/m^2$

燃料等の種別			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
			$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) 10=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	4,406.0	45.00	198.3	0.0136	9.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()			0.0					
7615	その他()	の他()			0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	247,668.0	9.76	2,417.2	0.4890	121.1
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>**2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	合 計						<sup>(4)</sup> 2,615.5		131.0
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	2,867.0			0.2660	0.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	2,867.0			0.4000	1.1
		合計							1.9

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>√</b> п ⟨	か 仕 畑 の 畝 供			A205	取組内容や点検体制の定期的改善
組	織体制の整備			A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
	) ) ) (t/t)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
ì		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運用対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
省				C123	温湿度の適正管理
工				C115	事務用機器を業務終了時に停止
ネ				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ルギ				C520	給湯設定と使用場所の温度差把握
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策				
Ì		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E132	エアカーテンの設置
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E141	太陽光発電設備の導入

2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
---	--------------	--	---------

目標の有無	□有■無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

・令和2年3月より青山保育園が移転・赤坂子ども中高生プラザ青山館と併設

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	豊間	引いる	きい	きプ	ラザ															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	1	9										
					Ŧ	1	0	8	_	0	0	7	3	区	市	町	村	名	東京	都港区	-			
事	業所	等の	所在	地	町以	名 番	<b>地</b> 下	三田	5- <i> </i>	7-7								,						
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		1	,607	.15	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の 間		1年度	分		1年	未満
所	有		形	態		自己	上所有	j		] 他	者所	有												
報	告		範	囲		建物	の分	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>/</b> F	)			〕建	物の-	一部	(その	)他)	
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿則	<u>į</u> )				業施証 の他	殳(飮	(食)		
日に	本 標 おける				8	上 <i>物</i>	4	9	連	運鎖化					直	I営	店			か盟に	与		非認	核当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	一況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエオ	ネル	ギー	-電	気		証書に の利用		環境	価値	
前か	年度らい	の 勃 変		容点																				

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 71	t
		3 0	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮) 7 二酸化炭素 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 排 出 量 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	4 71	t	
			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

<u> </u>	<u> 一段 ログスポガロ</u>	山里寺の門叭	1						
			推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
燃料等の種別		<i>の</i>	単位	使用里	徐毅	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)	
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	9	(t) (0)=(8)×(9)×44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	16,225.0	45.00	730.1	0.0136	36.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び 熱	その他()			0.0					
3117	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	72,324.4	9.97	721.1	0.4890	35.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	xWh		0.0		
		合 計					<sup>(1)</sup> 1,451.2		<sup>15</sup> 71.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,643.7			0.2660	0.4
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	946.1			0.4000	0.4
		合 計							0.8

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

4	地球温暖化对策	ツ夫旭仏		T	7 0 1/2 1 1 1/14
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
<b>♦□ ♦</b>	☆ 14 × 11 ↑ ★ 14			A214	温暖化対策優良事例の情報収集
和上方	織体制の整備				
	) - ) > <i>tit</i>	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
	11 47 100 00 10 10				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C303	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
	運 用 対 策	C305	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
工使     省エネルギー対策       ネ用     運				C113	中間期における外気冷房の実施
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C319	蒸気の漏れ・保温の管理
				C317	その他設備の不使用時の停止
エネルギー 対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
茦	設備保守対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	乳 / 上 / 大	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

目標の有無	□ 有 ■ 無						
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%		
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> CO <sub>2</sub> 排出量(総量)				
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

・豊岡児童館と併設

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>デ</b> 等	の名	称	障害	害者]	支援	ホー	-ム	有麻:	布												
事	業	所	番	号	Α	1	0	3	6	_	0	0	8	2									
					Ŧ	1	0	6	-	0	0	4	7	区	市	町	村	名	東京都洋	巷区			
事	業所	等 0	所在	地	町。	名番	<b>地下</b>	南麻	布4	-6-	-13												
事	業所等	等の	延床面	ī 積		4	,511	.91	$\mathrm{m}^2$		業 所 ネ ル			実 <i>i</i> ・使				の 間	■ 1年	医分		] 1年	F未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有											
報	告	<u>:</u>	範	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	写(テ	ナン	ノト	)			<b>建物</b>	の一音	ß(そ	の他	)
扣	生 椞 田	F AD F	こたる月	日次		事務	骄					商業	纟施言	殳(牛	勿則	反)			〕商業	施設(	飲食	)	
羊区	口即也	ゴマノユ	こに公月	力还		工場	<u>=</u>					複合	施調	没					<b>し</b> その	他			
			<ul><li>業分</li><li>分類</li></ul>		8	5	5	9	通	連鎖化	匕事弟	<b>美区</b> 2	分		Į.	直営	店		□加.	盟店		非	該当
再の	生可能	能エ 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	ネル	ギー	一電	気		書による 利用	る環境	话価値	Ī
前か		の 執 の 多	是 告 内	容点																			

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	1	103	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2	197	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	4	t
	総計(④=②+③)	4	201	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	(5)	43.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	燃料等の種別 都市ガス その他(LPG) その他(灯油) その他() その他()		推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>徐毅</b> ⑨	(t) (0=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	11,541.9	45.00	519.4	0.0136	25.9
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び執	その他()				0.0				
7615	その他()				0.0				
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	351,471.0	9.97	3,504.2	0.4890	171.9
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\tilde{\mathbf{I}}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 4,023.5		<sup>15</sup> 197.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	6,925.0			0.2660	1.8
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	6,925.0			0.4000	2.8
		合計							4.6

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況	J
-	45 24 N. 1 III. 102   1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

	<u> 地球                                   </u>		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
☆日 ≪	職体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
邢丑. 市	戦や前の発掘	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
	) ) ) (//	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止		
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更		
	運 用 対 策				
省工					
ーネル					
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
策	設備保守対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施		
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況		目標達成した。
--------------	--	---------

目標の有無	□有■無				
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		$kg-CO_2/m^2$	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内	内容を記載		

## 6 特記事項

・児童発達支援センター併設

### 1 事業所等の概要

事	業所	<b>等</b>	の名	称	芝灌	#学:	童ク	ラブ															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	3									
					₹	1	0	8		0	0	2	3	区	市	町	村	名	東京者	『港区			
事	業所	等 σ.	)所 在	E 地	町。	名 番	地下	芝浦	i4 — 1	2-1	8												
事	業所等	等の	延床面	面積			366	5.55	$m^2$	- /	業 所 ネ ル			実 使		年 刊 :		の 間	<b>1</b>	年度分	.		年未満
所	有	Ī	形	態		自己	上所有	Ì		■他	者所	有											
報	告	i	範	囲		建物	りの含	产部		建	物の	)一音	『(テ	ナン	<b>ノ</b> ト	)			〕建物	物の一部	部(そ	<u>-</u> のf	也)
報	告範囲	月の主	こたる月	目途		事務						商業			勿則	页)			〕商業	<b>業施設</b>	飲食	<b>(</b> )	
, , ,						工場	<u>i</u>					複合	施調	艾					その	)他			
日に	本 標 おける				8	5	3	9	連	鎮化	/事業	美区约	分		<u>I</u>	直営	店		口力	巾盟店		<b>=</b> -	非該当
再の	生可能	能 エ 用	ネル <sup>き</sup> 状	ギー 況				エネ 設置		一発		再生 の受		ニエネ	マル	ギー	一電	気		E書によ O利用	る環	境価	値
前か	年度らい	の 報 の <i>薬</i>	设 告 内 定 更	容点	令和	14年月	度実績	漬より	、原剂	由換算	章30K	L以_	上に	なっ	たた	こめ	新規	報報	± =				

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>①</sup> 37	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 70	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 70	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 190.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

	一致 口次来が 燃料等の		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup> (t)
			使用		6	7	8=(6/1000)×7	9	(0)=(8)×(9)×44/12
44.1	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
7//	その他()				0.0				
	一般送配電事業者	昼間(8時~22時)		kWh	145,049.0	9.97	1,446.1	0.4890	70.9
電気	の電線路を介して 供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
~~	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,446.1		<sup>15</sup> 70.9
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	902.0			0.2660	0.2
の他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	902.0			0.4000	0.4
		合 計	•						0.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策	/ \	重点対	·策			その他対策	
		対策番号		対策名		対策番号	対策ク	 }
		A203	具体的な取組	目標と内容の認	设定	A205	取組内容や点検体制	の定期的改善
ъп.	<i>⇔</i>							
組;	織体制の整備							
	) ) ) (t/t)	B105	エネルギー使月	月量の前年度に	<b>北較</b>	B108	エネルギー等情報の	対策への活用
	ネルギー等の 用状況の把握							
χ,	11 1/1 1/1 VC VC V2 1/L 1/E							
		C101	空室•不在時等	のこまめな消	灯	C102	照明スイッチに点灯範	i囲を表示
		C109	空室•不在時等	の空調停止				
		C501	個室等不使用	<b>箇所のこまめ</b> な	消灯			
	運用対策							
省								
エ								
ネ								
ルギ								
]								
対等	設備保守対策							
W.	以 備 水 寸 刈 米							
	設備導入対策							
	EX MII 44 / C/M / C							
甘玄	 責年度の目標達成の	カル泊	□目標達成	ti t	1			
天形	1 中皮の日保建成	771/1/16	口目标连加	XU/C <sub>0</sub>				
5	提出年度の地球	温暖化対	策の目標					
1	標の有無	□有	無無					
		ベンチマー			ランク	CO <sub>2</sub>	削減率(前年度比)	%
目標	票値等(選択)		(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub>		排出量(総量)	t
	7 (C) 7	その他		特記事項に				v
		COVIE		小町子文化	-L14LCH	J #X		
3	特記事項							
,	付記事項							

### 1 事業所等の概要

	T /\/	\ \ \ \1 \ .	- 100	~																		
事	業別	<b>デ</b> 等	の <i>3</i>	名 称	児重	<b></b>	談所	Î														
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6		0	0	8	4								
	NIK	tota		III.	Ŧ	1	0	7	_	0	0	6	2	区	市	丁木	寸 名	東京	都港区	<u> </u>		
事	業所	等 0	)所	在地	町。以	名番	<b>地</b> 下	南青	145	-7-	-11及	とび1	2									
事	業所	等の	延床	面積		3	3,503	3.67	$m^2$		業 所 ネ ル								1年度	分		1年未満
所	有	Ī	形	態		自己	引所有	j		] 他	1者所	有										
報	芒	î	範	囲		建物	カの含	产部		] 建	物の	)一音	『(テ	ナン	/ト)			■ 建	物の-	一部	(その	他)
報	告範囲	目の主	こたろ	用凃		事務	所					商業	羊施詞	殳(牛	勿販	)		] 啓	業施調	設(飲	(食)	
112	H +6 E	4 ·> _		7117		工場	<u>1</u> 7					複合	施調	艾				そ	の他			
日に	本標おける				8	5	3	9	通	越鎖化	上事業	美区2	分		直	営店	111		加盟/	吉		非該当
再の	生可可利	能 エ 用	ネル 状					エネ 設置		一発		再生の受		エネ	マルコ	<u>-</u>	電気		証書にの利用		環境信	<b></b> 面值
前か	年度ら	の 執 の <i>羽</i>																				

### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 113	kl
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	217	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 0	t
	総計(④=②+③)	<sup>④</sup> 217	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 61.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

			推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	$\mathcal{O}$	単位	使用量	係数	が重 (GJ)	排出	排出量※1
			使用		6	7	<b>®</b> =( <b>6</b> /1000) × <b>7</b>	係数 <sup>⑨</sup>	(t) (0=8×9×44/12
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	35,377.5	45.00	1,592.0	0.0136	79.4
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
び熱	その他()				0.0				
77.1	その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	182,297.1	9.97	1,817.5	0.4890	89.1
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	100,655.5	9.76	982.4	0.4890	49.2
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	<u>í</u> **2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					<sup>(14)</sup> 4,391.9		<sup>(15)</sup> 217.8
その	水道及び工業	用水道		$\mathrm{m}^3$	1,110.0			0.2660	0.3
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	1,108.0			0.4000	0.4
		合計							0.7

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

	地球温暖化対策	-	重点文	  策			その他対策	· ·
		対策番号		対策名		対策番号		 策名
						A205	取組内容や点検体	は制の定期的改善
⁄п ч	か 4 ままの 載 生							
組;	織体制の整備							
		B101	自ら入手可能な	な情報に基づく	〈把握	B104	設備ごとに詳細に	把握
エ 使 /	ネルギー等の用状況の把握					B107	主要設備の使用が	、沢の把握
		C101	空室•不在時等	テのこまめな消	灯			
		C109	空室•不在時等	等の空調停止				
		C504	利用状況に応	じた空調の設定	它変更			
		C508	空室•不在時等	等の空調停止 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん				
	運用対策							
省								
エ								
ネル								
ギ		D104				D100	7 0 11 30 14 0 5 44	146 2- /0 -24 - 14 14
 対		D104	空調フィルター	の清掃・点検		D108	その他設備の定期	的な保守・点検
策	設備保守対策							
		E101	高効率照明ラン	/プの採用(屋	·内)	E130	全熱交換器の導力	
		E103	高効率照明器				工灬入八品、中	`
	設備導入対策							
主系	責年度の目標達成の		□目標達成	むした。				
/ \/ //s	(1) (1) (1) (1)	->-//						
5	提出年度の地球			<del>-</del>				
<u> </u>	標の有無	□有	無無		_		1	<b>1</b>
		ベンチマー	ク区分		ランク		2削減率(前年度比)	Ç
目標	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり)		kg-CO	$_2/\text{m}^2$ CC	2排出量(総量)	t
		その他		特記事項に	内容を記	己載		
6	特記事項							
			<b></b> <b></b>					

## 1 事業所等の概要

	• / /	~/// ·	•	11/6/	` .																		
事	業	所《	等(	の名	3 称	札の	り辻	スクニ	エア														
事	業	Ē	折	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	5								
+	ᅫ스 =	r <i>k</i> k	•	=r +	مارا جا	₹	1	0	5	_	0	0	1	4	区	市田	丁村	名	東京者	8港区			
争	業月	丌 等	()	<b>別 在</b>	土地	町。以	名 番	<ul><li>地</li><li>下</li></ul>	芝五	丁目	36番	4号											
事	業所	· 等 (	り延	床i	面積		6	5,384	.85	$m^2$		業 所 ネ ル					E 度 期	の間	<b>1</b>	年度分	}		1年未満
所		有	Ŧ	形	態		自己	引所有	j		] 他	者所	有										
報		告	俥	節	囲		建物	カの含	产部		〕建	物の	)一音	『(テ	ナン	/ト)			建物	物の一	·部(-	その	他)
報	告範	囲の	主	たる。	用途		事務 工場						商業 複合			物販)				業施設 の他	(飲	食)	
日に	本様おけ					9	8	2	1	追	鍾俏	(事業	<b>美区</b> 2	分		直,	営店		□ j	71盟店			非該当
再の	生可利		エ <i>ネ</i> 目	、ル: 状	ギ ー 況				エネ 設置		一発		再生の受		エネ	ベルキ	一電	氢		正書に。 の利用	よる環	環境個	<b></b> 适值
前か	年月ら	きの の	報変	告 更	勺 容点																		

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	<sup>©</sup> 267	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	<sup>②</sup> 519	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3 2	t
	総計(④=②+③)	§ 521	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たり の量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 81.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

	燃料等の		推計の	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出	炭素排出量 排出量 <sup>※1</sup>		
	W(1) 40	71年为5	使用	半匹	6	<b>⑦</b>	(OJ) (S=(6)/1000)×⑦	係数 <sup>⑨</sup>	(t) @=8×9×44/12		
LAN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	8,435.0	45.00	379.6	0.0136	18.9		
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0		
及	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
び熱	その他()	)					0.0				
77.	その他()	D他()			0.0						
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	1,023,925.0	9.76	9,993.5	0.4890	500.7		
規則	第5条の17第3項	の場合のみなし値	Ĭ <sup>※2</sup>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	合 計						<sup>(1)</sup> 10,373.1		<sup>15</sup> 519.6		
その	1/IV IP /X ( / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			$\mathrm{m}^3$	3,137.0			0.2660	0.8		
他	1, 11, <del></del> 1, 54			$\mathrm{m}^3$	4,424.1			0.4000	1.8		
		合 計	·			/			2.6		

<sup>※1</sup> 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

<sup>※2</sup> ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4	地球温暖化対策の実施状況
-	<u> おらんい m tbな コーカー タヒヒ マノラモ かられた 1カ</u>

	地球温暖化対策	2 4/1 2 7 4	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
	) )) (i)	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
	ネルギー等の 用状況の把握			B107	主要設備の使用状況の把握
<b>X</b> )	11 V DE *> 1C DE			B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
	運用対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
工				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
ネルビ				1	
ギー		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
<b>/</b>   <b>K</b>	INC AND ALC. 1 NO ALC.				
				E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
	設備導入対策			E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

目標の有無	□有■無			
	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	${\rm kg-CO_2/m}^2$	CO2排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

・令和4年度開設の施設で、令和3年度の実績は準備期間中の実績となります。

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	精补	申障:	害者	支捷	受セ:	ンター	— <i>‡</i>	らい	はー	-と•	み	なる	느							
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	6										
					Ŧ	1	0	5		0	0	1	3	区	市	町	村	名	東京	都港区				
事	業所	等の	所在	地	町。	名番	地下	高輪	i1丁	目4番	:8号													
事	業所等	筝の タ	延床面	ī積		1	,280	.74	$m^2$		業 所 ネ ル		の -			年 判:		の間		1年度	分		1年未	満
所	有		形	態		自己	上所有	<u></u>		」他	者所	有												
報	告		範	囲		建物	りの含	全部		〕建	物の	) —	『(テ	ナン	ノト	)			建	物の一	-部(	(その	他)	
共口	告範囲	I M F	・たて日	1 次		事務	所					商業	能能	殳(牛	勿則	页)			商	業施設	) ()	(食)		
羊区	口即因	コマノユ	:/この /T	1 还		工場	<u>1</u>					複合	施調	<b></b>					そ	の他				
日に	本 標 おける				8	5	5	9	連	鍾徂	/事業	(区)	分		Į.	直営	店			加盟店	1		非該当	≦
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 况				エネ 設置	ルギ	一発		再生 の受		エオ	ネル	ギー	一電	気		証書に の利用		環境	西値	
前か	年度らり	の 勃	设 告 内 定 更	容点	令和	4年	度実績	漬より	、原泡	由換算	章30K	L以_	上に	なっ	たた	こめ	新規	報台	E.					

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工力	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 40	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 78	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総計(④=②+③)	<sup>4</sup> 79	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	© 60.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

0 一跃门从来听山里守*/广门			推計		使用量	係数	熱量		炭素排出量
燃料等の種別			の 使用	単位	灰川里	<b>小</b> 数	(GJ)	排出 係数	排出量 <sup>※1</sup> (t)
			120/19		6	7	8=(6/1000)×7	9	(II)=(8) × (9) × 44/12
444.	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	9,683.9	45.00	435.8	0.0136	21.7
料料	燃料 その他()				0.0				
及	及 その他()				0.0				
び熱	び その他()				0.0				
77.1	だ その他()				0.0				
_	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	115,330.0	9.97	1,149.8	0.4890	56.4
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規貝	第5条の17第3項	の場合のみなし値	$\mathbf{I}^{\divideontimes 2}$	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
		合 計					1,585.6		78.1
その				$\mathrm{m}^3$	2,295.0			0.2660	0.6
他	公共下水道			$\mathrm{m}^3$	2,295.0			0.4000	0.9
	_						1.5		

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

- ネ,	体 制 の 整 備 ルギー 等 の 状 況 の 把 握	対策番号 B105		対策名 		対策番	早	<del>\\</del>	策名		
- ネ,	ルギー等の	B105	_ 4., 16 [+1				イク	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	**1		
- ネ,	ルギー等の	B105	\_ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \								
- ネ,	ルギー等の	B105	<del>[+</del> [								
		B105	_ <del>_</del> _ <del>                                    </del>								
		B105	~ ~ ~ ~ /+ t								
			エネルキー使用	用量の前年度比	較						
$\top$											
		C101		きのこまめな消灯		C10		採光を利用した消			
		C106		都の推奨値へ変	更	C10	7	空調機スイッチに	空調範囲を表	示	
		C109	空室•不在時等								
		C501		箇所のこまめな							
運	1 用 対 策	C504	利用状況に応	じた空調の設定	変更						
É											
L.											
ネレ											
レ ギ											
1						D10		セントラル空調のご		ĵ	
計 設	備保守対策					D10	7	ボイラ等の空気比	の調整		
	Alla Mia 2 N/3 Nic	74.74									
		E101	高効率照明ラン	/プの採用(屋内	])	E104		照明点灯範囲の約			
設	:備導入対策								照明用人感センサの採用		
	Min (1 > 4 > 1 > 14					E108		高効率照明器具の	の採用(屋外)		
建結在	三度の目標達成の	の状況	□目標達成	むた							
C/15K 1	人。日 你 是	->-///		7070	l						
提	出年度の地球	温暖化対	策の目標								
標		□有	無無								
		ベンチマー	ク区分		ランク		$CO_2$	削減率(前年度比)		%	
標値	直等(選択)	CO。排出量	(延床面積当たり)		kg-CO	$_{\rm p}/{\rm m}^2$	CO <sub>2</sub>	排出量(総量)		t	
	- ( , ,	その他		特記事項に							
		COVIE		111日中央(C)	141.5	11 45					

### 1 事業所等の概要

事	業所	等	の名	称	旧三	三田	図書	館															
事	業	所	番	号	А	1	0	3	6	_	0	0	8	7									
					Ŧ	1	0	8		0	0	1	4	区	市	町	村	名	東京都	<b></b> 都港区			
事	事業所等の所在		: 地	町。	■ → h= 18=/1																		
事	業所等	等の タ	延床面	ī 積		4	,321	.24	$m^2$		業 所 ネ ル			実 ; · 使		年 刊 :		の間		年度分	}		1年未満
所	有	•	形	態		自己	上所有	j		〕他	者所	有											
報	告		範	囲		建物	の分	产部		〕建	物の	)一音	『(ラ	ナ	ノト	)			] 建	物の一	部(	その	他)
報	告範囲	の主	こたる月	月途		事務工場						商業 複合			勿貝	反)				業施設 の他	(飲	食)	
日に	本 標 おける				9	8	2	1	連	鍾徂					<u>I</u>	直営	店			加盟店			非該当
再の	生可能	能工. 用	ネルキ 状	· 況				エネ 設置		一発		再生 の受		i エン	ネル	ギー	一電	気		証書に。 の利用	よる環	環境信	西値
前か	年度らる	の 新 カ 変	设 告 内 定 更	容点	令和	14年月	要より	教育	委員	会かり	ら所管	音替え	Ž.										

## 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量(①=@×0.0258)	① 58	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	2 111	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に 伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 111	t
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	<sup>⑤</sup> 25.6	$kg-CO_2/m^2$

			推計				熱量	二酸化炭素排出量		
燃料等の種別			0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1	
		使用		6	7	®=(⑥/1000)×⑦	<b>你</b> 数	(t) (0=8×9×44/12		
LAIN	都市ガス			$\mathrm{Nm}^3$	11,809.6	45.00	531.4	0.0136	26.5	
燃料	その他(LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
及	及 その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
び熱	び その他()				0.0					
This	べ その他()				0.0					
-	一般送配電事業者 の電線路を介して	昼間(8時~22時)		kWh	173,837.0	9.97	1,733.2	0.4890	85.0	
電気	供給された電気	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜	間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0	
規貝	第5条の17第3項	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
合 計							<sup>(14)</sup> 2,264.6		111.5	
その				$\mathrm{m}^3$	879.0			0.2660	0.2	
他	公共下水道	_		$\mathrm{m}^3$	879.0			0.4000	0.4	
	_	合 計	·	·					0.6	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
- ※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000 ⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

		の実施状	重点対策	その他対策					
		対策番号	対策名	対策番号	対策名				
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善				
泪糸	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定						
	194 11 113								
エネルギー等の		B105	エネルギー使用量の前年度比較						
吏丿	用状況の把握								
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯						
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更						
		C109	空室・不在時等の空調停止						
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯						
	運 用 対 策	C504	利用状況に応じた空調の設定変更						
省		C508	空室・不在時等の空調停止						
エネル									
ボギー				D105	換気フィルターの清掃・点検				
対策	設備保守対策								
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化				
				E105	照明用人感センサの採用				
	設備導入対策			E108	高効率照明器具の採用(屋外)				
三 美緑	<u>┃</u> 責年度の目標達成の	の状況	□ 目標達成した。						
5 ;	提出年度の地球	温暖化分	第の日標						
]	標の有無	口 有	無無						
		ベンチマー	ク区分ランク	CO2	2削減率(前年度比)				
目標	票値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量	(延床面積当たり) kg-C(	$O_2/m^2$ $CO_2$	2排出量(総量) t				
		その他	特記事項に内容を	記載					
5	特記事項								
, .	N HL T. K								